

# 葛城市地球温暖化対策実行計画

## (区域施策編)

### －資料編－



## 1. 計画策定の経緯

### (1) 計画策定の経緯

日時	実施内容
2023年9月22日 ～10月6日	地球温暖化に関する市民・事業所アンケートの実施
2025年10月27日	第1回葛城市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定検討委員会
2025年11月28日	第2回葛城市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定検討委員会

### (2) 葛城市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定検討委員会委員

役職	氏名（敬称略）	備考
委員長	東 錦也	葛城市 副市長
副委員長	西川 勝也	葛城市 市民生活部長
委員	高垣 倫浩	葛城市 企画部長
	植田 和明	葛城市 産業観光部長
	西川 康光	葛城市 クリーンセンター所長
	谷 茂則	奈良県地球温暖化防止活動推進センター センター長
	下村 靖弘	NPO 法人エコ葛城市民ネットワーク 理事長
	吉村 佳也	葛城市商工会 事務局長

## 2. アンケート調査

### (1) 市民アンケート

#### ① アンケート調査票

### I. あなたのことについて

問 1. あなたの年齢をお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 10・20代	2 30代	3 40代	4 50代
5 60代	6 70代	7 80代以上	

問 2. あなたのお住まいの小学校区をお答えください（当てはまるもの1つに〇）

小学校区	該 当 大 字
1 新庄小学校区	新庄、葛木、南藤井、大屋、寺口、中戸、辨之庄、北道穂、南道穂、西室、東室、柿本、笛堂、北花内
2 忍海小学校区	忍海、薑、新村、新町、南花内、西辻、林堂、山田、平岡、山口、梅室、笛吹、脇田、南新町
3 新庄北小学校区	疋田、辨之庄、北道穂、西室、東室
4 磐城小学校区	南今市、太田、兵家、竹内、長尾、木戸、尺土、八川、大畑
5 當麻小学校区	當麻、勝根、今在家、染野、新在家、加守
6 わからない（大字名： _____ ）	

問 3. あなたの葛城市での居住歴をお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 1年未満	2 1～5年	3 6～10年
4 11～20年	5 21～30年	6 30年以上

問 4. あなたの世帯構成をお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 単身世帯	2 夫婦のみ	3 二世帯世帯（親＋子）
4 三世帯世帯（親＋子＋孫）	5 その他（ _____ ）	

問 5. あなたの住宅の形態をお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 持家1戸建	2 持家集合住宅	3 賃貸1戸建
4 市営住宅	5 民間賃貸集合住宅	6 社宅・寮
7 その他（ _____ ）		

## Ⅱ. 環境問題（地球温暖化）について

問 6. 「地球温暖化」とは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）等の温室効果ガスが大気中に放出されることにより、地球全体の平均気温が上昇している現象をいいます。あなたは、地球温暖化について関心はありますか。（当てはまるもの 1つに○）

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 1 関心がある    | 2 ある程度関心がある     |
| 3 あまり関心がない | 4 全く関心がない・わからない |

問 7. 普段の生活や暮らしの中において、地球温暖化が原因と感じる環境の変化はありますか。当てはまるものをお答えください。（当てはまるもの 3つまで○）

- |  |
|--|
| 1 猛暑日や熱帯夜など、暑い日が増加した                         |
| 2 ゲリラ豪雨や勢力の強い台風が増加した                         |
| 3 大雨による洪水等の自然災害が増加した                         |
| 4 昔に比べて暖冬になってきた                              |
| 5 農作物の品質低下や収穫量が減少した                          |
| 6 農作物の栽培時期や収穫時期が変化した                         |
| 7 渇水や地下水量が減少した                               |
| 8 野生生物の減少や生息域が変化した                           |
| 9 桜などの花の開花時期が変化した                            |
| 10 デング熱などの感染症リスクが増加した                        |
| 11 いずれの変化も現れていない                             |
| 12 わからない                                     |
| 13 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

問 8. あなたは地球温暖化についての情報や知識をどこで知りましたか。当てはまるものをお答えください。（当てはまるもの 全てに○）

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1 テレビ・ラジオ             | 2 新聞・雑誌・書籍                                   |
| 3 市のホームページ・広報（広報かつらぎ） | 4 市の公式 Facebook、X（旧 Twitter）                 |
| 5 インターネット（市の公式以外）     | 6 SNS（Facebook、X、Instagram 等）                |
| 7 家族や友人・知人による口コミ      | 8 学校の授業やイベント                                 |
| 9 勤務先や取引先を通じて         | 10 イベントやセミナー等                                |
| 11 子供の学習教材            | 12 どこからも得ていない                                |
| 13 わからない              | 14 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

### Ⅲ. 環境に関する取組について

問 9. 日常生活における地球温暖化防止のための取組について、普段あなたが取り組んでいることについてお答えください。(各取組について、当てはまるもの 1 つに○)

取組の内容	日頃から取り組んでいる	時々取り組んでいる	取り組んでいないが、今後取り組みたい	取り組む予定はない
不要な照明やテレビはこまめに消す				
家電製品を長時間使わない時は、コンセントからプラグを抜く				
エアコン使用時の室温は、夏は28℃、冬は20℃設定で使用している				
お風呂での省エネ（家族が続けて入る、シャワーの出しっぱなしをやめる等）を心かけている。				
冷蔵庫への詰めすぎや開けっ放しに気を付ける				
買い物の際はマイバックを持参する				
地元で作られた食材を購入する				
外出時はなるべく公共交通機関を利用する				
近距離の移動は徒歩や自転車を利用する				
エコドライブを心がけている				
3R（リデュース、リユース、リサイクル）を心がけている				
ごみの分別をしている				
環境にやさしい商品を購入している				
家電製品の購入時は、省エネ性能の高い商品を購入している				
植栽や緑のカーテンなど、緑化を行っている				
環境保全に関する地域活動（清掃活動、植樹等）に参加している				

問 10. 家庭の省エネルギー化に役立つ機器や設備について、あなたのご自宅での導入状況をお答えください。(各項目について、当てはまるもの1つに○)

項目	導入している	導入検討中 (予定含む)	予定はないが、関心はある	導入していない
LED 照明				
壁や床、天井などの断熱				
太陽光発電システム				
太陽熱利用システム※ <sup>1</sup>				
エコウィル、エコキュートなどの効率の良い給湯機				
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (エネファーム) ※ <sup>2</sup>				
家庭用蓄電池システム				
ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS) ※ <sup>3</sup>				
再生可能エネルギー由来の電力会社				
クリーンエネルギー自動車 (電気自動車、プラグインハイブリット車、ハイブリット車)				
薪ストーブ				
地中熱利用システム				
ZEH (ネット・ゼロ・エネルギーハウス) ※ <sup>4</sup>				

※<sup>1</sup>: 太陽の熱エネルギーを集熱器 (パネル) で集めて、給湯や暖房などを行うシステム

※<sup>2</sup>: ガスを使って発電する家庭用燃料電池

※<sup>3</sup>: 家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム

※<sup>4</sup>: 高断熱化、高効率な省エネルギー設備の導入や、再生可能エネルギーの活用等により、生活で使用するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅のこと

問 11. あなたが世帯で保有している自動車は何台ですか。(当てはまるもの 1つに○)

1 1台	2 2台
3 3台以上	4 保有していない ⇒【問 14 へ】

問 12. 【問 11. で 1、2、3 を選んだ方にご質問します。】

保有している自動車の種類をお答えください。(当てはまるもの 全てに○)

1 ガソリン・ディーゼル車	2 電気自動車
3 ハイブリット車	4 燃料電池車
5 プラグインハイブリット車	6 その他 ( )

問 13. 【問 11. で 1、2、3 を選んだ方にご質問します。】

最も利用している自動車の利用状況についてお答えください。(当てはまるもの 1つに○)

1 ほぼ毎日(週 5 日以上)利用している	2 週 3、4 回利用している
3 週 1、2 回利用している	4 週 1 回未満利用している

問 14. 【すべての方にご質問します。】

あなたが自動車利用を減らすためにどのようなことが有効だと考えますか。  
(当てはまるもの 全てに○)

1 公共交通機関の利便性向上	2 まちなかでの駐輪場の整備
3 公共交通料金への補助	4 カーシェアリングの普及
5 オンデマンドバス <sup>※1</sup> や乗合タクシーの普及	6 鉄道とレンタカー・レンタサイクルの連携
7 大規模集客施設と駅等を巡回するシャトルバスの運行	
8 その他 ( )	

※1: 利用者自身が乗車日時や乗降場所を指定することで、ニーズに応じた運行ができるバスのこと

#### IV. 環境に関する市の取組について

問 15. 温暖化対策として葛城市にふさわしい再生可能エネルギーは何だと思えますか。(当てはまるもの 2つまで○)

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 太陽光                   | 2 太陽熱               |
| 3 風力                    | 4 小水力 <sup>※1</sup> |
| 5 木質バイオマス <sup>※2</sup> | 6 地中熱               |
| 7 わからない                 | 8 その他 ( )           |

※1：一般河川、農業用水、上下水道などで利用される水のエネルギーを利用し、発電する方法。

一般的に出力 10,000kW 以下の比較的小規模な発電設備を総称して「小水力発電」と呼ぶ。

※2：木材からなるバイオマスのこと。「バイオマス」とは再生可能な生物由来の有機物資源のこと

問 16. あなたは SDGs<sup>※</sup>について知っていますか。(当てはまるもの 1つに○)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1 名前も内容も知っている   | 2 名前は知っているが、内容は知らない |
| 3 知らない (初めて聞いた) |                     |

※：SDGs については別紙参照

問 17. あなたは国が 2050 年に温室効果ガスの排出量をゼロにすることを目指す「カーボンニュートラル」を宣言したことについて知っていますか。(当てはまるもの 1つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 知っているし、内容も知っている | 2 知っているが、内容は知らない |
| 3 知らない (初めて聞いた)   |                  |

問 18. あなたは葛城市が 2050 年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ」<sup>※</sup>を宣言したことについて知っていますか。(当てはまるもの 1つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 知っているし、内容も知っている | 2 知っているが、内容は知らない |
| 3 知らない (初めて聞いた)   |                  |

※：「ゼロカーボンシティ」については別紙参照

問 19. あなたが今後、地球温暖化防止に関する取組を積極的に進めるためには、どのような情報があればよいと思えますか。(当てはまるもの 2つまでに○)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 国や県が行っている取組とその効果   | 2 地球温暖化の原因やメカニズム   |
| 3 身近な生活に及ぼす影響や現象、被害  | 4 地球温暖化対策の具体的な取組方法 |
| 5 地球温暖化対策の取組を支援する制度  | 6 シンポジウムや講習会の開催    |
| 7 活動している団体や NPO 等の情報 | 8 市の温室効果ガス削減の進捗状況  |
| 9 その他 ( )            |                    |

問 20. あなたは、地球温暖化の解決に向けて、市としてどのようなことを重点的に取り組めばよいと思いますか。(当てはまるもの3つまで○)

- 1 公共施設を中心とした太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入
- 2 省エネ機器や自然エネルギーを利用する設備の導入への支援(補助金の交付等)
- 3 再生可能エネルギーの活用に関する情報提供や広報活動
- 4 省エネ家電や省エネ住宅の普及に向けた取組
- 5 電気自動車等の環境にやさしい自動車の普及に向けた取組
- 6 オンデマンドバスや乗合タクシー等の公共交通機関の充実など、自動車以外の交通手段の普及に向けた取組
- 7 市内の緑地面積の維持
- 8 学校等での子供に対する環境学習の実施
- 9 大人に対する環境学習の実施
- 10 ごみの減量化やリサイクル等の資源の有効利用の情報提供や広報活動
- 11 環境にやさしい行動が、家計にやさしくなるような仕組みづくり(エコポイント等)
- 12 環境に配慮した企業活動、産業活動の推進
- 13 温室効果ガス排出に対する条例などによる規制
- 14 地球温暖化防止に役立つ先進技術の導入
- 15 わからない
- 16 その他( )

問 21. 地球温暖化等に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

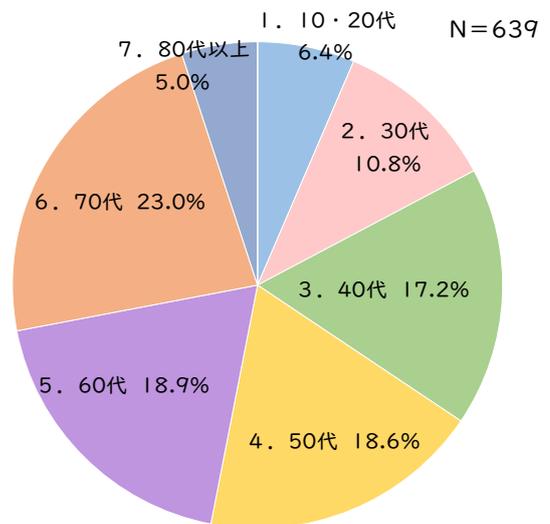
## ② アンケート結果

### I. あなたのことについて

#### 問 1. 年齢（1つ選択）

- ・ 70代が23.0%で一番多い。
- ・ 40～60代では各年代の割合（17.2～18.9%）が同程度となっている。

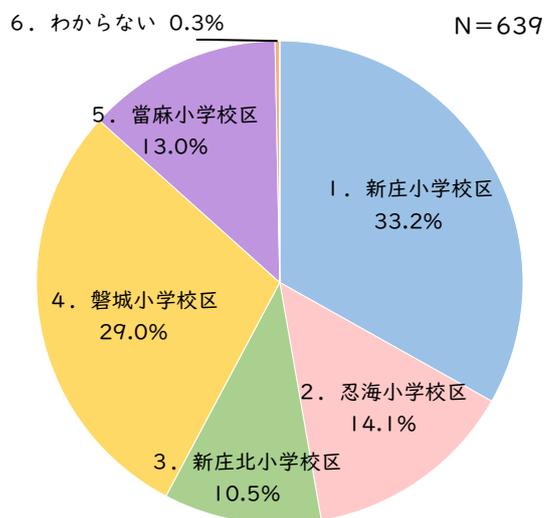
選択肢	回答数	割合
1. 10・20代	41	6.4%
2. 30代	69	10.8%
3. 40代	110	17.2%
4. 50代	119	18.6%
5. 60代	121	18.9%
6. 70代	147	23.0%
7. 80代以上	32	5.0%
回答数	639	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	5	-
回答者数（不明・無回答を除く）	639	-



## 問 2. お住まいの小学校区（1つ選択）

・新庄小学校区が 33.2%で最も多く、次いで磐城小学校区が 29.0%となっている。

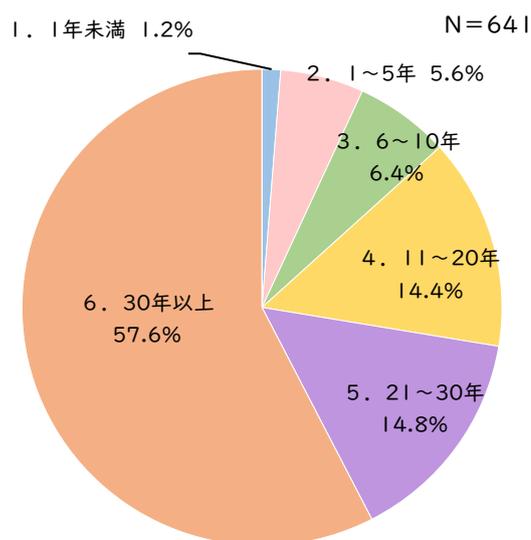
選択肢	回答数	割合
1. 新庄小学校区	212	33.2%
2. 忍海小学校区	90	14.1%
3. 新庄北小学校区	67	10.5%
4. 磐城小学校区	185	29.0%
5. 當麻小学校区	83	13.0%
6. わからない	2	0.3%
回答数	639	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	5	-
回答者数（不明・無回答を除く）	639	-



## 問 3. 葛城市での居住歴（1つ選択）

・「30年以上」が 57.6%と最も多く、次いで「21～30年」が 14.8%、「11～20年」が 14.4%となっている。

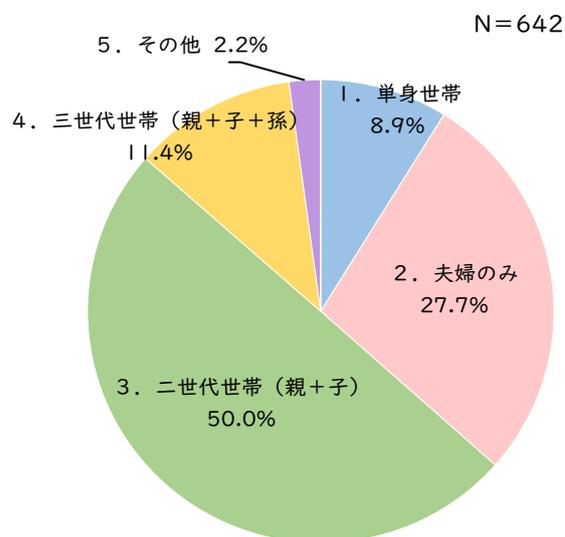
選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	8	1.2%
2. 1～5年	36	5.6%
3. 6～10年	41	6.4%
4. 11～20年	92	14.4%
5. 21～30年	95	14.8%
6. 30年以上	369	57.6%
回答数	641	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	3	-
回答者数（不明・無回答を除く）	641	-



#### 問 4. 世帯構成（1つ選択）

・「二世帯世帯（親＋子）」が50.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が27.7%となっている。

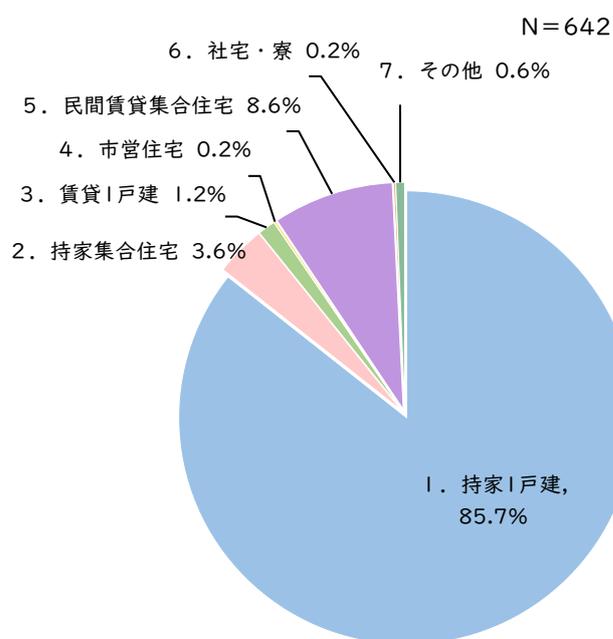
選択肢	回答数	割合
1. 単身世帯	57	8.9%
2. 夫婦のみ	178	27.7%
3. 二世帯世帯（親＋子）	321	50.0%
4. 三世帯世帯（親＋子＋孫）	73	11.4%
5. その他	14	2.2%
回答数	643	100.2%
回答者数	644	-
不明・無回答	2	-
回答者数（不明・無回答を除く）	642	-



#### 問 5. 住宅の形態（1つ選択）

・「持家1戸建」が85.7%で最も多く、次いで「民間賃貸集合住宅」が8.6%となっている。

選択肢	回答数	割合
1. 持家1戸建	550	85.7%
2. 持家集合住宅	23	3.6%
3. 賃貸1戸建	8	1.2%
4. 市営住宅	1	0.2%
5. 民間賃貸集合住宅	55	8.6%
6. 社宅・寮	1	0.2%
7. その他	4	0.6%
回答数	642	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	2	-
回答者数（不明・無回答を除く）	642	-



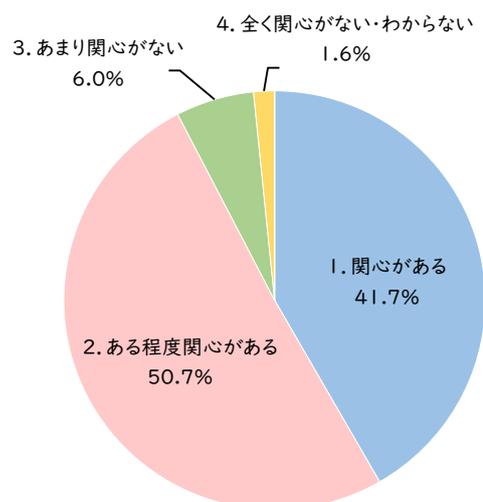
## Ⅱ.環境問題（地球温暖化）について

問 6. 「地球温暖化」とは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）等の温室効果ガスが大気中に放出されることにより、地球全体の平均気温が上昇している現象をいいます。あなたは、地球温暖化について関心はありますか。（1つ選択）

・「ある程度関心がある」が 50%と最も多く、次いで「関心がある」が 41.7%となっており、関心を示す割合が 9 割以上となっている。

N=633

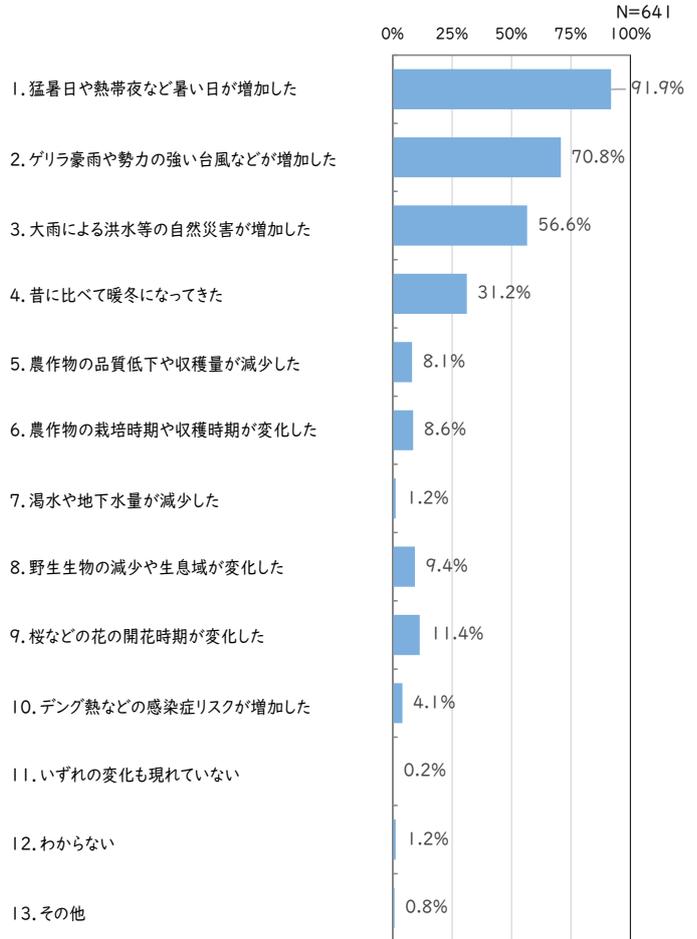
選択肢	回答数	割合
1. 関心がある	264	41.7%
2. ある程度関心がある	321	50.7%
3. あまり関心がない	38	6.0%
4. 全く関心がない・わからない	11	1.6%
回答数	634	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	11	-
回答者数（不明・無回答を除く）	633	-



問 7. 普段の生活や暮らしの中において、地球温暖化が原因と感じる環境の変化はありますか。(当てはまるもの3つまで選択)

・「猛暑日や熱帯夜など、暑い日が増加した」が91.9%と最も多く、次いで「ゲリラ豪雨や勢力の強い台風が増加した」が70.8%、「大雨による洪水等の自然災害が増加した」が56.6%となっており、異常気象に関する回答が多い。

選択肢	回答数	割合
1. 猛暑日や熱帯夜など暑い日が増加した	589	91.9%
2. ゲリラ豪雨や勢力の強い台風などが増加した	454	70.8%
3. 大雨による洪水等の自然災害が増加した	363	56.6%
4. 昔に比べて暖冬になってきた	200	31.2%
5. 農作物の品質低下や収穫量が減少した	52	8.1%
6. 農作物の栽培時期や収穫時期が変化した	55	8.6%
7. 湧水や地下水量が減少した	8	1.2%
8. 野生生物の減少や生息域が変化した	60	9.4%
9. 桜などの花の開花時期が変化した	73	11.4%
10. デング熱などの感染症リスクが増加した	26	4.1%
11. いずれの変化も現れていない	1	0.2%
12. わからない	8	1.2%
13. その他	5	0.8%
回答数	1,894	-
回答者数	644	-
不明・無回答	3	-
回答者数(不明・無回答を除く)	641	-

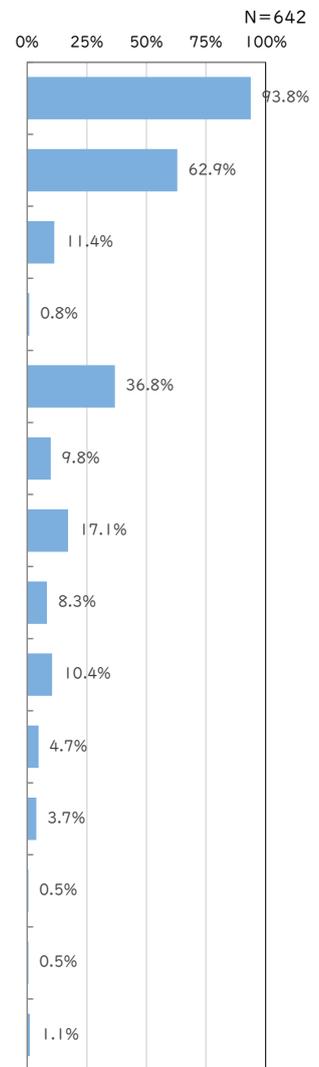


問 8. あなたは地球温暖化についての情報や知識をどこで知りましたか。当てはまるものをお答えください。(当てはまるもの全て選択)

・「テレビ・ラジオ」が93.8%と最も多く、次いで「新聞・雑誌・書籍」が62.9%、「インターネット（市の公式以外）」が36.8%となっている。

選択肢	回答数	割合
1. テレビ・ラジオ	602	93.8%
2. 新聞・雑誌・書籍	404	62.9%
3. 市のホームページ・広報(広報かつらぎ)	73	11.4%
4. 市の公式Facebook、X(旧Twitter)	5	0.8%
5. インターネット(市の公式以外)	236	36.8%
6. SNS(Facebook、X、Instagram等)	63	9.8%
7. 家族や友人・知人による口コミ	110	17.1%
8. 学校の授業やイベント	53	8.3%
9. 勤務先や取引先を通じて	67	10.4%
10. イベントやセミナー等	30	4.7%
11. 子供の学習教材	24	3.7%
12. どこからも得ていない	3	0.5%
13. わからない	3	0.5%
14. その他	7	1.1%
回答数	1,680	-
回答者数	644	-
不明・無回答	2	-
回答者数(不明・無回答を除く)	642	-

- 1. テレビ・ラジオ
- 2. 新聞・書籍・雑誌
- 3. 市のホームページ・広報(広報かつらぎ)
- 4. 市の公式Facebook、X(旧Twitter)
- 5. インターネット(市の公式以外)
- 6. SNS(Facebook、X、Instagram等)
- 7. 家族や友人・知人による口コミ
- 8. 学校の授業やイベント
- 9. 勤務先や取引先を通じて
- 10. イベントやセミナー等
- 11. 子供の学習教材
- 12. どこからも得ていない
- 13. わからない
- 14. その他

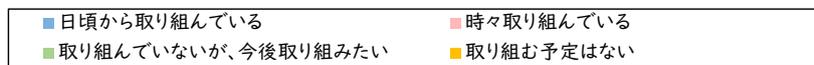
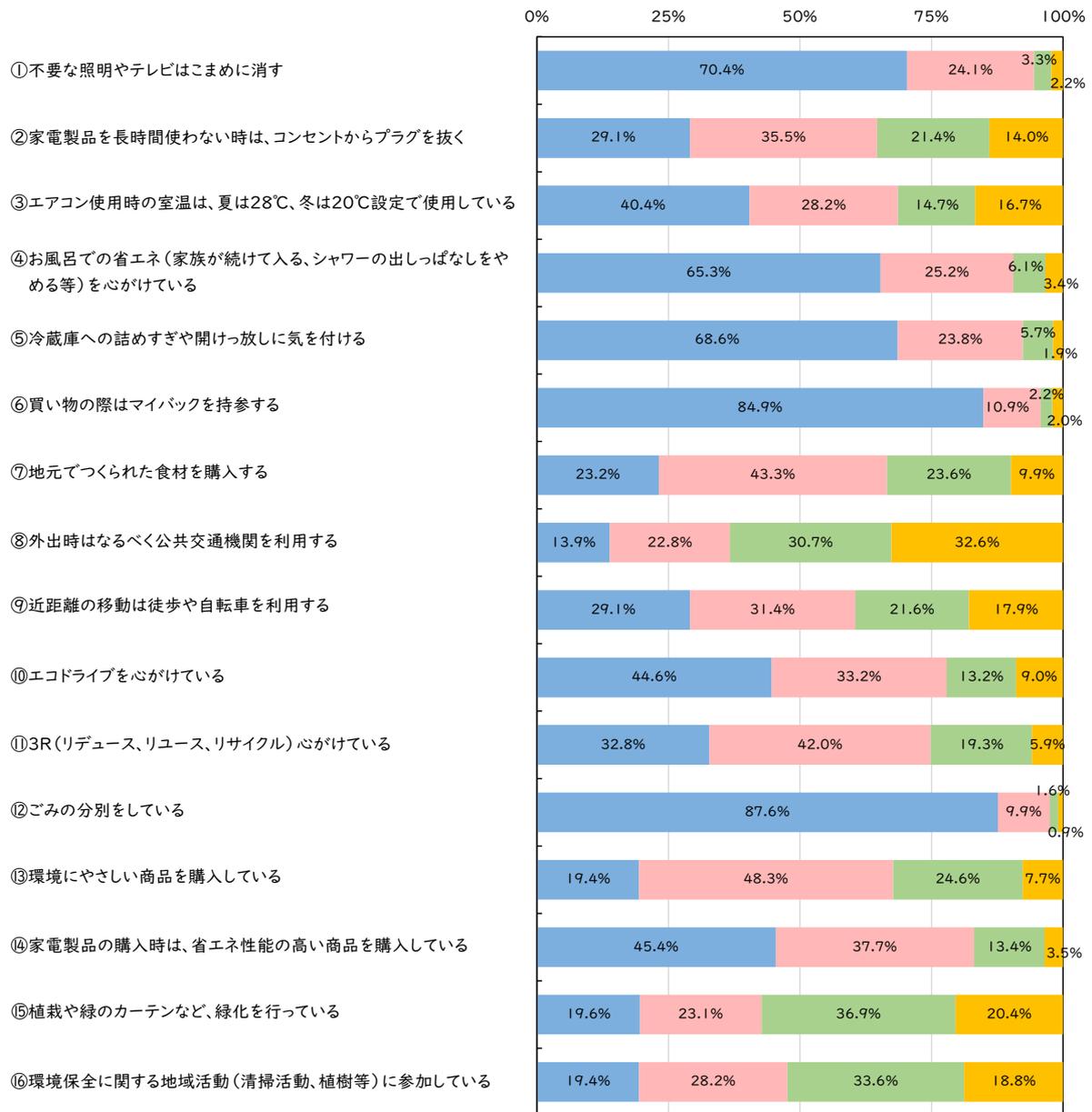


### Ⅲ. 環境に関する取組について

問 9. 日常生活における地球温暖化防止のための取組について、普段あなたが取り組んでいることについてお答えください。(各項目1つ選択)

・日頃から取り組んでいる割合が最も高い取組は、「⑫ごみの分別をしている」が88.0%であり、取り組んでいないが、今後取り組みたいとする割合が最も高い取組は、「⑮植栽や緑のカーテンなど、緑化を行っている」が36.9%であった。また、取り組む予定はないとする割合が最も高い取組は、「⑧外出時はなるべく公共交通機関を利用する」が32.6%であった。

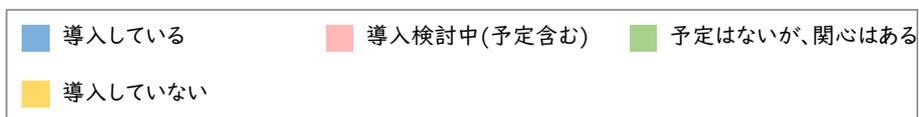
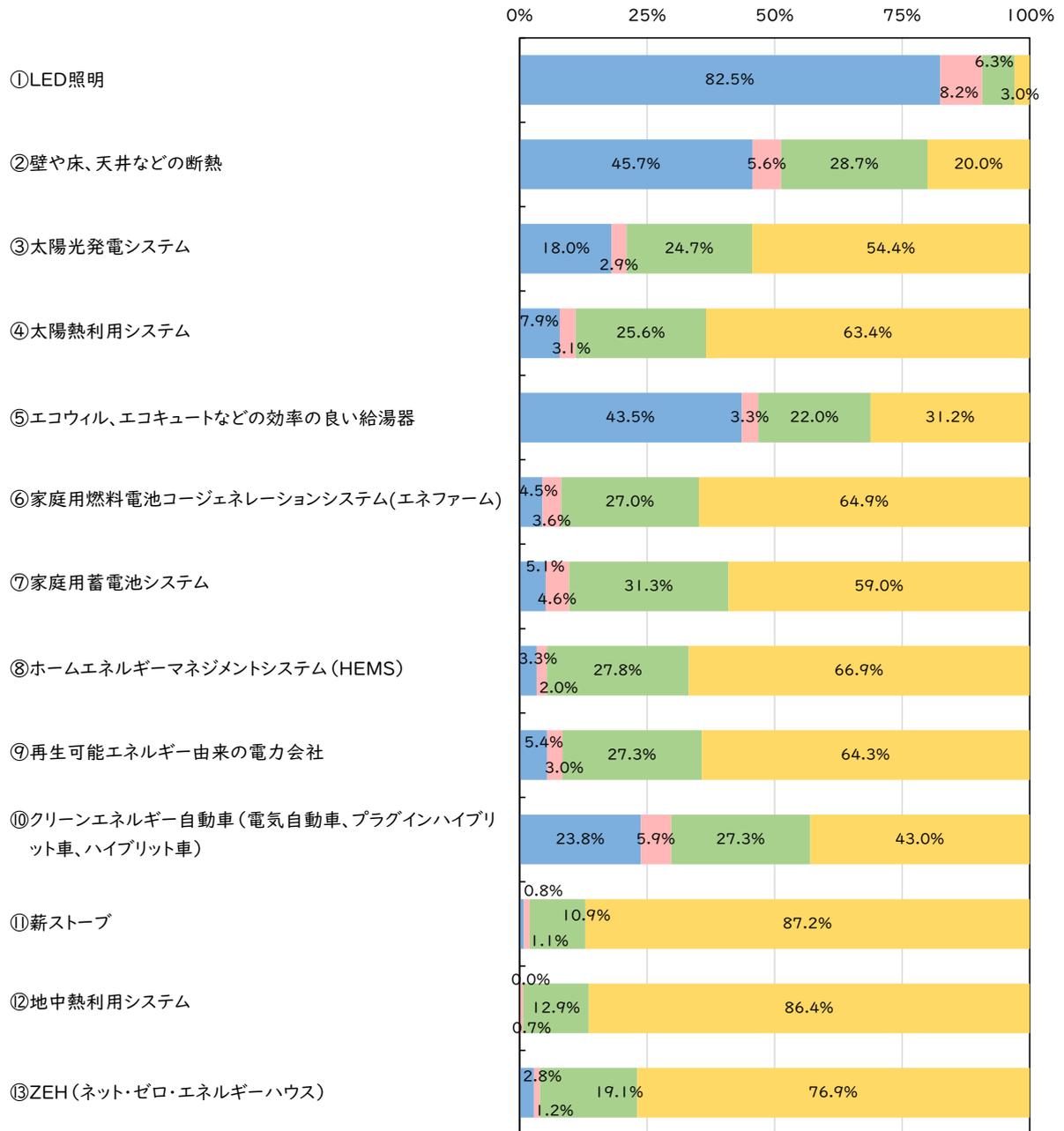
選択肢	日頃から取り組んでいる	時々取り組んでいる	取り組んでいないが、今後取り組みたい	取り組む予定はない	回答数	回答者数	不明・無回答
①不要な照明やテレビはこまめに消す	444	152	21	14	631	644	13
	70.4%	24.1%	3.3%	2.2%	-	100.0%	-
②家電製品を長時間使わない時は、コンセントからプラグを抜く	177	216	130	85	608	644	36
	29.1%	35.5%	21.4%	14.0%	-	100.0%	-
③エアコン使用時の室温は、夏は28℃、冬は20℃設定で使用している	250	175	91	103	619	644	26
	40.4%	28.2%	14.7%	16.7%	-	100.0%	-
④お風呂での省エネ（家族が続けて入る、シャワーの出しっぱなしをやめる等）を心かけている	407	157	38	21	623	644	21
	65.3%	25.2%	6.1%	3.4%	-	100.0%	-
⑤冷蔵庫への詰めすぎや開けっ放しに気を付ける	432	150	36	12	630	644	14
	68.6%	23.8%	5.7%	1.9%	-	100.0%	-
⑥買い物の際はマイバックを持参する	540	69	14	13	636	644	8
	84.9%	10.9%	2.2%	2.0%	-	100.1%	-
⑦地元で作られた食材を購入する	143	267	145	61	616	644	28
	23.2%	43.3%	23.6%	9.9%	-	100.1%	-
⑧外出時はなるべく公共交通機関を利用する	85	140	188	200	613	644	31
	13.9%	22.8%	30.7%	32.6%	-	100.0%	-
⑨近距離の移動は徒歩や自転車を利用する	179	194	133	110	616	644	28
	29.1%	31.4%	21.6%	17.9%	-	99.9%	-
⑩エコドライブを心かけている	264	197	78	53	592	644	52
	44.6%	33.2%	13.2%	9.0%	-	99.9%	-
⑪3R（リデュース、リユース、リサイクル）を心かけている	200	256	117	36	609	644	35
	32.8%	42.0%	19.3%	5.9%	-	100.1%	-
⑫ごみの分別をしている	558	63	10	6	637	644	7
	87.6%	9.9%	1.6%	0.9%	-	100.0%	-
⑬環境にやさしい商品を購入している	119	296	151	47	613	644	31
	19.4%	48.3%	24.6%	7.7%	-	100.0%	-
⑭家電製品の購入時は、省エネ性能の高い商品を購入している	283	235	84	22	624	644	20
	45.4%	37.7%	13.4%	3.5%	-	99.9%	-
⑮植栽や緑のカーテンなど、緑化を行っている	120	141	226	125	612	644	32
	19.6%	23.1%	36.9%	20.4%	-	100.1%	-
⑯環境保全に関する地域活動（清掃活動、植樹等）に参加している	120	174	209	116	619	644	26
	19.4%	28.2%	33.6%	18.8%	-	99.9%	-



問 10. 家庭の省エネルギー化に役立つ機器や設備について、あなたのご自宅での導入状況をお答えください。(各項目1つ選択)

- ・導入済みが最も多い機器や設備は「①LED照明」82.4%で最も多く、次いで「②壁や床、天井などの断熱」が45.6%、「⑤エコウィル、エコキュートなどの効率の良い給湯機」が43.6%であった。
- ・導入はしていないが、関心が高い機器・設備は「⑦家庭用蓄電池システム」が31.3%で最も多く、次いで「②壁や床、天井などの断熱」が28.7%、「⑧ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)」が27.8%で続いた。

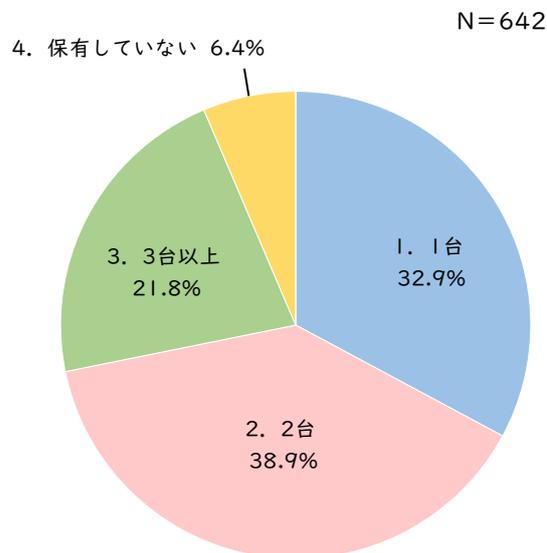
選択肢	導入している	導入検討中 (予定含む)	予定はない が、関心は ある	導入してい ない	回答数	回答者数	不明・ 無回答
①LED照明	521	52	40	19	632	644	12
	82.5%	8.2%	6.3%	3.0%	-	100.1%	-
②壁や床、天井などの断熱	278	34	175	122	609	644	35
	45.7%	5.6%	28.7%	20.0%	-	100.1%	-
③太陽光発電システム	111	18	152	335	616	644	28
	18.0%	2.9%	24.7%	54.4%	-	100.0%	-
④太陽熱利用システム	48	19	156	387	610	644	34
	7.9%	3.1%	25.6%	63.4%	-	100.0%	-
⑤エコウィル、エコキュートなどの 効率の良い給湯機	267	20	135	191	613	644	31
	43.5%	3.3%	22.0%	31.2%	-	99.9%	-
⑥家庭用燃料電池コージェネレーション システム(エネファーム)	27	22	163	391	603	644	41
	4.5%	3.6%	27.0%	64.9%	-	100.1%	-
⑦家庭用蓄電池システム	31	28	190	359	608	644	36
	5.1%	4.6%	31.3%	59.0%	-	100.0%	-
⑧ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)	20	12	167	401	600	644	44
	3.3%	2.0%	27.8%	66.9%	-	100.1%	-
⑨再生可能エネルギー由来の電力会社	32	18	162	382	594	644	50
	5.4%	3.0%	27.3%	64.3%	-	100.0%	-
⑩クリーンエネルギー自動車(電気自動車、 プラグインハイブリット車、ハイブリット車)	145	36	167	263	611	644	34
	23.8%	5.9%	27.3%	43.0%	-	100.0%	-
⑪薪ストーブ	5	7	67	534	613	644	32
	0.8%	1.1%	10.9%	87.2%	-	100.1%	-
⑫地中熱利用システム	0	4	78	523	605	644	39
	0.0%	0.7%	12.9%	86.4%	-	100.0%	-
⑬ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)	17	7	115	464	603	644	41
	2.8%	1.2%	19.1%	76.9%	-	100.0%	-



問 11. あなたが世帯で保有している自動車は何台ですか（1つ選択）

・自動車を保有している世帯は全体の9割以上であり、このうち複数台保有する世帯は全体の6割を占める。

選択肢	回答数	割合
1. 1台	211	32.9%
2. 2台	250	38.9%
3. 3台以上	140	21.8%
4. 保有していない	41	6.4%
回答数	642	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	2	-
回答者数（不明・無回答を除く）	642	-

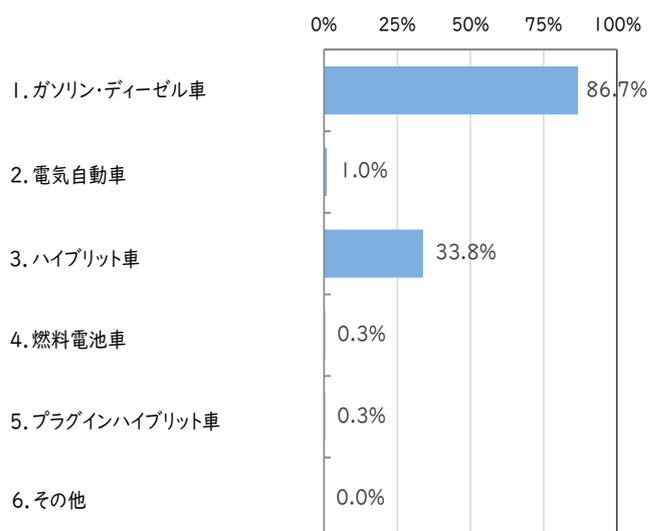


問 12. 【問 11. で 1、2、3 を選んだ方】

保有している自動車の種類をお答えください。（当てはまるもの全て選択）

・ガソリン・ディーゼル車が 86.7%と最も多く、電気自動車等の化石燃料を使用しない自動車の保有割合は、1割に満たない。

選択肢	回答数	割合
1. ガソリン・ディーゼル車	520	86.7%
2. 電気自動車	6	1.0%
3. ハイブリット車	203	33.8%
4. 燃料電池車	2	0.3%
5. プラグインハイブリット車	2	0.3%
6. その他	0	0.0%
回答数	733	-
回答者数	644	-
不明・無回答	44	-
回答者数（不明・無回答を除く）	600	-

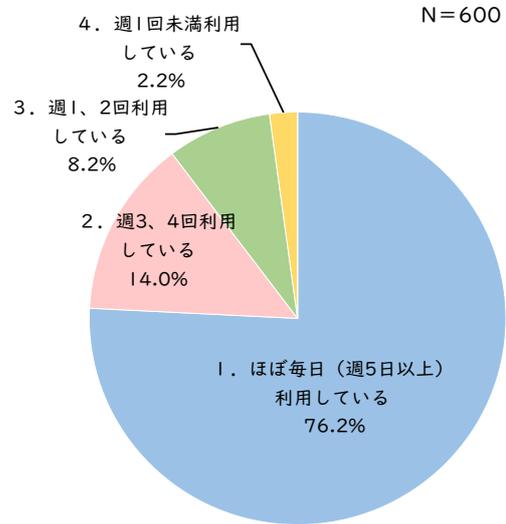


問 13. 【問 11. で 1, 2, 3 を選んだ方】

最も利用している自動車の利用状況についてお答えください。(1つ選択)

・「ほぼ毎日(週5日以上)利用している」が76.2%と最も多い。

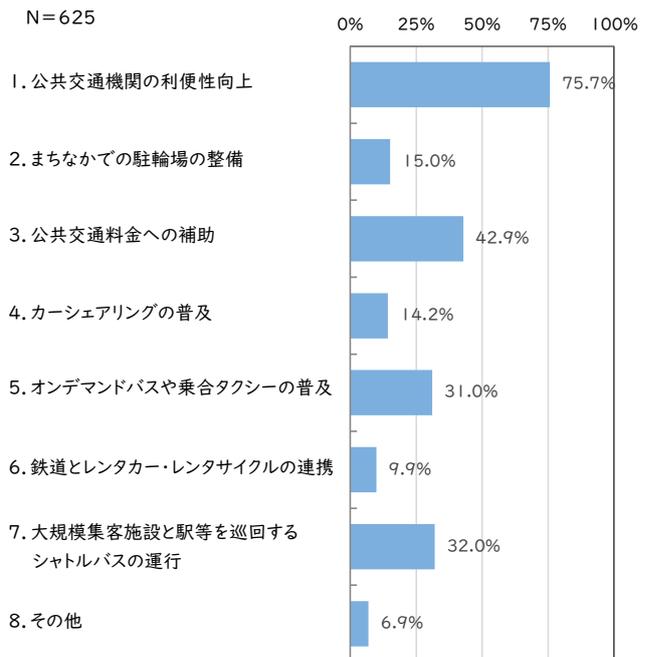
選択肢	回答数	割合
1. ほぼ毎日(週5日以上)利用している	457	76.2%
2. 週3、4回利用している	84	14.0%
3. 週1、2回利用している	49	8.2%
4. 週1回未満利用している	13	2.2%
回答数	603	100.5%
回答者数	644	-
不明・無回答	44	-
回答者数(不明・無回答を除く)	600	-



問 14. あなたが自動車利用を減らすためにどのようなことが有効だと考えますか。(当てはまるもの全てに○)

・「公共交通機関の利便性向上」が75.7%と最も多く、次いで「公共交通料金への補助」が42.9%となっている。

選択肢	回答数	割合
1. 公共交通機関の利便性向上	473	75.7%
2. まちなかでの駐輪場の整備	94	15.0%
3. 公共交通料金への補助	268	42.9%
4. カーシェアリングの普及	89	14.2%
5. オンデマンドバスや乗合タクシーの普及	194	31.0%
6. 鉄道とレンタカー・レンタサイクルの連携	62	9.9%
7. 大規模集客施設と駅等を巡回するシャトルバスの運行	200	32.0%
8. その他	43	6.9%
回答数	1,423	-
回答者数	644	-
不明・無回答	19	-
回答者数(不明・無回答を除く)	625	-

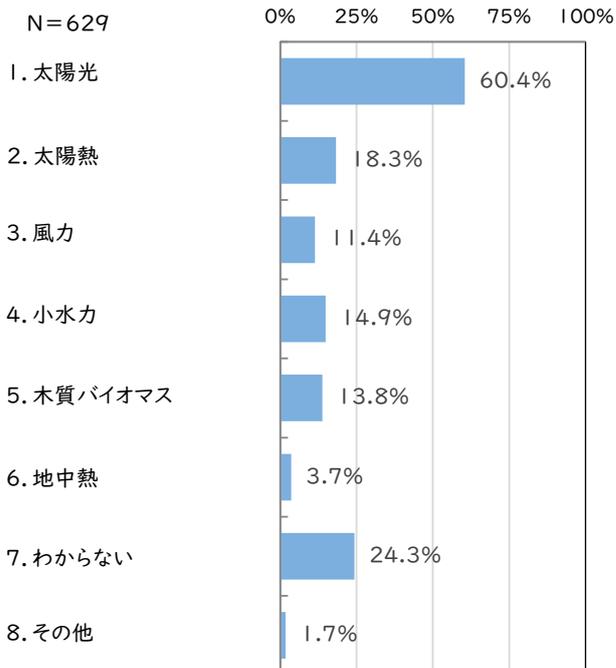


#### IV. 環境に関する市の取組について

問 15. 温暖化対策として葛城市にふさわしい再生可能エネルギーは何だと思えますか。  
(当てはまるもの2つまで)

・「太陽光」が60.4%で最も多く、次いで「わからない」が24.3%、「太陽熱」が18.3%となっている。

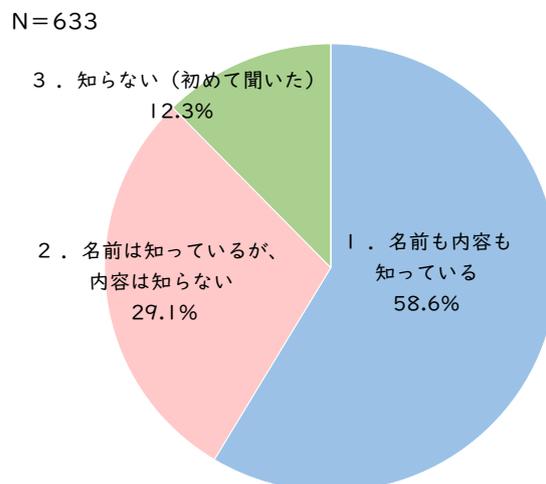
選択肢	回答数	割合
1. 太陽光	380	60.4%
2. 太陽熱	115	18.3%
3. 風力	72	11.4%
4. 小水力	94	14.9%
5. 木質バイオマス	87	13.8%
6. 地中熱	23	3.7%
7. わからない	153	24.3%
8. その他	11	1.7%
回答数	935	-
回答者数	644	-
不明・無回答	15	-
回答者数(不明・無回答を除く)	629	-



問 16. あなたは SDGs について知っていますか。(1つ選択)

・「名前も内容も知っている」と回答した人が58.6%と最も多く、「知らない(初めて聞いた)」と回答した人は12.3%であった。  
・アンケート回答者のSDGsの認知度は約9割であった。

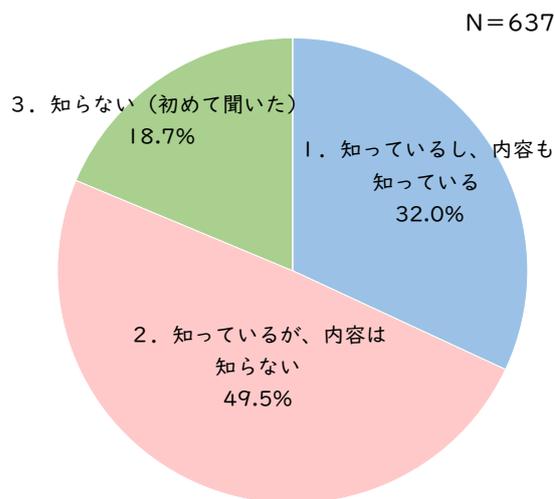
選択肢	回答数	割合
1. 名前も内容も知っている	371	58.6%
2. 名前は知っているが、内容は知らない	184	29.1%
3. 知らない(初めて聞いた)	78	12.3%
回答数	633	100.0%
回答者数	644	-
不明・無回答	11	-
回答者数(不明・無回答を除く)	633	-



問 17. あなたは国が 2050 年に温室効果ガスの排出量をゼロにすることを指す「カーボンニュートラル」を宣言したことについて知っていますか。(1つ選択)

・「知っているが、内容は知らない」と回答した人が 49.5%と最も多く、「知らない(初めて聞いた)」と回答した人は 18.7%であった。  
 ・アンケート回答者の「カーボンニュートラル」を宣言したことについての認知度は約 8 割であった。

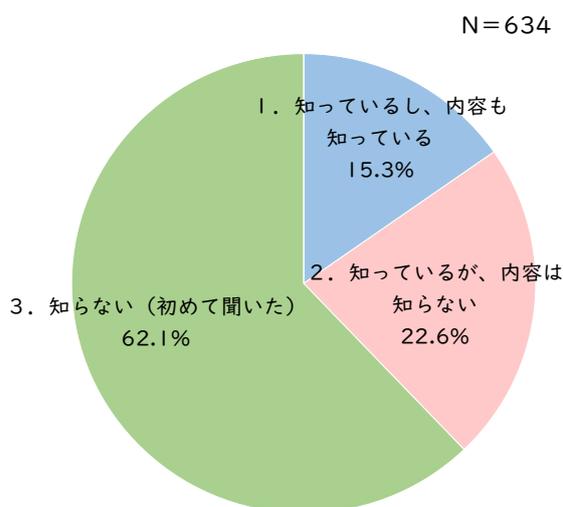
選択肢	回答数	割合
1. 知っているし、内容も知っている	204	32.0%
2. 知っているが、内容は知らない	315	49.5%
3. 知らない(初めて聞いた)	119	18.7%
回答数	638	100.2%
回答者数	644	-
不明・無回答	7	-
回答者数(不明・無回答を除く)	637	-



問 18. あなたは葛城市が 2050 年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを指す「ゼロカーボンシティ」を宣言したことについて知っていますか。(1つ選択)

・「知らない(初めて聞いた)」と回答した人が 62.1%と最も多く、「知っているし、内容も知っている」と回答した人は 15.3%であった。  
 ・アンケート回答者の葛城市が「ゼロカーボンシティ」を宣言したことについての認知度は約 4 割であった。

選択肢	回答数	割合
1. 知っているし、内容も知っている	97	15.3%
2. 知っているが、内容は知らない	143	22.6%
3. 知らない(初めて聞いた)	394	62.1%
回答数	634	100.0%
回答者数	645	-
不明・無回答	11	-
回答者数(不明・無回答を除く)	634	-



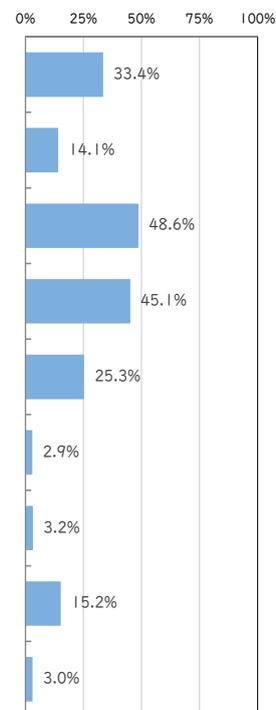
問19. あなたが今後、地球温暖化防止に関する取組を積極的に進めるためには、どのような情報があればよいと思いますか。(当てはまるもの2つまで)

・「身近な生活に及ぼす影響や現象、被害」と回答した人が48.6%と最も多く、次いで「地球温暖化対策の具体的な取組方法」と回答した人が45.1%であった。

選択肢	回答数	割合
1. 国や県が行っている取組とその効果	209	33.4%
2. 地球温暖化の原因やメカニズム	88	14.1%
3. 身近な生活に及ぼす影響や現象、被害	304	48.6%
4. 地球温暖化対策の具体的な取組方法	282	45.1%
5. 地球温暖化対策の取組を支援する制度	158	25.3%
6. シンポジウムや講習会の開催	18	2.9%
7. 活動している団体やNPO等の情報	20	3.2%
8. 市の温室効果ガス削減の進捗状況	95	15.2%
9. その他	19	3.0%
回答数	1,193	-
回答者数	644	-
不明・無回答	19	-
回答者数(不明・無回答を除く)	625	-

N=625

1. 国や県が行っている取組とその効果
2. 地球温暖化の原因やメカニズム
3. 身近な生活に及ぼす影響や現象、被害
4. 地球温暖化対策の具体的な取組方法
5. 地球温暖化対策の取組を支援する制度
6. シンポジウムや講習会の開催
7. 活動している団体やNPO等の情報
8. 市の温室効果ガス削減の進捗状況
9. その他



問 20. あなたは、地球温暖化の解決に向けて、市としてどのようなことを重点的に取り組めばよいと思いますか。(当てはまるもの3つまで)

・「1. 公共施設を中心とした太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入」と回答した人が45.6%と最も多く、次いで「11.環境にやさしい行動が、家計にやさしくなるような仕組みづくり(エコポイント等)」と回答した人が32.4%であった。

選択肢	回答数	割合
1. 公共施設を中心とした太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入	290	45.6%
2. 省エネ機器や自然エネルギーを利用する設備の導入への支援(補助金の交付等)	237	37.3%
3. 再生可能エネルギーの活用に関する情報提供や広報活動	74	11.6%
4. 省エネ家電や省エネ住宅の普及に向けた取組	101	15.9%
5. 電気自動車等の環境にやさしい自動車の普及に向けた取組	98	15.4%
6. オンデマンドバスや乗合タクシー等の公共交通機関の充実など、自動車以外の交通手段の普及に向けた取組	155	24.4%
7. 市内の緑地面積の維持	144	22.6%
8. 学校等での子供に対する環境学習の実施	115	18.1%
9. 大人に対する環境学習の実施	64	10.1%
10. ごみの減量化やリサイクル等の資源の有効利用の情報提供や広報活動	128	20.1%
11. 環境にやさしい行動が、家計にやさしくなるような仕組みづくり(エコポイント等)	206	32.4%
12. 環境に配慮した企業活動、産業活動の推進	45	7.1%
13. 温室効果ガス排出に対する条例などによる規制	27	4.2%
14. 地球温暖化防止に役立つ先進技術の導入	64	10.1%
15. わからない	19	3.0%
16. その他	13	2.0%
回答数	1,780	-
回答者数	644	-
不明・無回答	8	-
回答者数(不明・無回答を除く)	636	-

N=636



## (2) 事業所アンケート

### ① アンケート調査票

#### I. 貴事業所について

問 1. 貴事業所の主な業種についてお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 農業、林業、漁業	2 鉱業、採石業、砂利採取業	
3 建設業	4 製造業	5 電気・ガス・熱供給・水道業
6 情報通信業	7 運輸業・郵便業	8 卸売業・小売業
9 金融・保険業	10 不動産業、物品賃貸業	
11 学術研究、専門・技術サービス業	12 宿泊業、飲食サービス業	
13 生活関連サービス業、娯楽業	14 教育、学習支援業	
15 医療、福祉	16 複合サービス業	
17 サービス業（他に分類されないもの）	18 その他（ ）	

※業種が複数にまたがる場合は、主となる業種を1つ選択し、ご回答ください。

問 2. 貴事業所の従業員数（パート・アルバイトを含む）をお答えください。  
（当てはまるもの1つに〇）

1 1～4 人	2 5～9 人	3 10～19 人
4 20～29 人	5 30～49 人	6 50～99 人
7 100～299 人	8 300 人以上	

問 3. 貴事業所の事業年数をお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 1 年未満	2 1～10 年	3 11～30 年
4 31～50 年	5 51 年以上	

問 4. 貴事業所の建物の形態についてお答えください（当てはまるもの1つに〇）

1 所有物件（事業所独立）	2 所有物件（自宅と兼用）
3 賃貸、テナント	

## Ⅱ. 貴事業所の環境の取組について

問 5. 貴事業所において、地球温暖化の影響を感じる場面はありますか。(当てはまるもの 1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 影響を感じる | 2 影響を感じない |
| 3 わからない  | 4 その他 ( ) |

問 6. 貴事業所は地球温暖化問題の対応について、どのように位置づけしていますか (当てはまるもの 1つに○)

- |                            |
|----------------------------|
| 1 事業継続において重要な課題であり、行動している  |
| 2 事業継続において重要な課題だが、行動はしていない |
| 3 事業継続において重要ではないし、行動もしていない |
| 4 その他 ( )                  |

問 7. 貴事業所は環境マネジメントシステムを導入していますか (当てはまるもの 全てに○)

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 ISO14001 <sup>※1</sup> | 2 エコアクション 21 <sup>※2</sup> |
| 3 KES <sup>※3</sup>      | 4 導入していないが、検討している          |
| 5 導入していない (導入予定なし)       | 6 その他 ( )                  |

※1: 国際標準化機構 (ISO) が発行した環境マネジメントシステム

※2: 環境省が策定した環境マネジメントシステム

※3: 京都で 2001 年に始まった環境マネジメントシステムである。わかりやすく低コストで取り組むことができるので、中小企業の登録が多い。

問 8. 貴事業所の車の保有台数をお答えください (当てはまるもの 全てに○)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1 1 台保有している   | 2 2~4 台保有している       |
| 3 5~9 台保有している | 4 10 台以上保有している      |
| 5 その他 ( )     | 6 保有していない →【問 11 へ】 |

問 9. 【問 8. で車を保有していると答えた事業所に質問です】

保有している車の種類は何ですか (当てはまるもの 全てに○)

- |                |           |
|----------------|-----------|
| 1 ガソリン・ディーゼル車  | 2 電気自動車   |
| 3 ハイブリット車      | 4 燃料電池車   |
| 5 プラグインハイブリット車 | 6 その他 ( ) |

問 10. 【問 8. で車を保有していると答えた事業所に質問です】

保有している車を買替えるとき、環境にやさしい自動車（燃料電池車、電気自動車等）を選択しますか（選択予定も含む）。

1 選択する（選択予定）	2 興味はあるが、選択しない
3 選択しない	4 わからない

問 11. 貴事業所では、現在取り組まれている身近な地球温暖化対策や省エネルギー活動をお教えてください（各取組について当てはまるもの1つに○）

各取組	既に取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	事業所に関係ない
エアコン使用時の室温は、夏は28℃、冬は20℃設定で使用している					
昼休み一斉消灯や間引き消灯の実施					
コピー用紙等の使用量削減（裏紙の使用など）					
ペーパーレス化の実施					
事務機器類の不使用时における電源オフの徹底					
クールビスやウォームビズの実施					
OA 機器の省エネモードの徹底					
ノー残業デーの実施					
エコドライブの実施					
通勤での自動車利用の抑制					
仕事での自動車利用の抑制					
リサイクル製品の使用					
環境に配慮した備品の購入（グリーン購入）					
廃棄物の再利用・再資源化					
二酸化炭素排出量の把握・削減目標の設定					
従業員への省エネ行動の啓発や教育					
地域の環境に関する活動の参加					
環境に関する勉強会などへの参加・支援					

問 12. 貴事業所での再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入状況についてお答えください（各項目について、当てはまるもの1つに○）

項目	導入している	導入検討中 (予定含む)	予定はないが、関心はある	導入しない	事業所に 関係ない
LED 照明の導入					
太陽光発電					
太陽熱利用					
高効率空調設備					
産業ヒートポンプ※ <sup>1</sup>					
産業用の高効率照明					
産業用の高効率モーター・インバーター※ <sup>2</sup>					
高性能ボイラー					
コージェネレーションシステム※ <sup>3</sup>					
潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)※ <sup>4</sup>					
BEMS (ビルエネルギーマネジメントシステム) ※ <sup>5</sup>					
蓄電池システム					

※1：工場等で捨てられていた熱を有効利用し、生産プロセスへ高効率に熱を供給できる装置

※2：電圧と周波数を自在に変換できる装置。家電製品や産業機械によく使われる。

※3：天然ガス等を燃料として、エンジン等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。回収した廃熱は冷暖房や給湯等に利用できる。

※4：これまで捨てられていた熱を再利用し、少ないガス量で効率よくお湯を沸かす省エネ性の高い給湯器。

※5：ITを利用して業務用ビルの空調や照明等を制御し、最適なエネルギー管理を行うもの。

問 13. 地球温暖化対策に関する取組の妨げになっていることは何ですか（当てはまるもの1つに〇）

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 初期投資などの設備投資の資金が高い・足りない      |
| 2 | 専門的な知識を持つ社員や人材がない           |
| 3 | 事業収益にプラスになるとは考えにくい          |
| 4 | 時間や手間がかかり、利便性が失われる          |
| 5 | 環境基準がないため、具体的な目標が立てにくい      |
| 6 | 環境教育や啓発をする余裕がない             |
| 7 | 何をすべきかわからない                 |
| 8 | その他（ <input type="text"/> ） |

問 14. 貴事業所では再生可能エネルギー由来の電力会社（太陽光発電等を利用して作られた電力）から電力を購入していますか（当てはまるもの1つに〇）

- |   |                 |   |                             |
|---|-----------------|---|-----------------------------|
| 1 | 購入している（購入予定である） | 2 | 購入していないが、関心はある              |
| 3 | 購入していない         | 4 | その他（ <input type="text"/> ） |

問 15. 貴事業所では、温室効果ガスの排出量を把握していますか。（当てはまるもの1つに〇）

- |   |                             |   |         |
|---|-----------------------------|---|---------|
| 1 | 把握している                      | 2 | 把握していない |
| 3 | その他（ <input type="text"/> ） |   |         |

問 16. 貴事業所では、温室効果ガス排出の削減に向けて、事業所としての削減目標や方針を定めていますか（当てはまるもの1つに〇）

- |   |          |   |                             |   |     |
|---|----------|---|-----------------------------|---|-----|
| 1 | 定めている    | 2 | 以前は定めていたが、今は定めていない          | 3 | 検討中 |
| 4 | 定める予定はない | 5 | その他（ <input type="text"/> ） |   |     |

問 17. 貴事業所の企業活動において、環境に配慮した取組はどのように位置づけられていますか（当てはまるもの全てに〇）

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | ビジネスチャンスである                 |
| 2 | 重要な戦略の1つである                 |
| 3 | 事業継続性に係る経営リスクの低減につながる       |
| 4 | 企業の社会的責任の1つである              |
| 5 | 法規制などの義務として遵守するものである        |
| 6 | 経営面を圧迫するものである               |
| 7 | 環境に配慮した取組と企業活動は関連がない        |
| 8 | その他（ <input type="text"/> ） |

### Ⅲ. 地球温暖化、市の環境行政について

問 18. 貴事業所は国が 2050 年に温室効果ガスの排出量をゼロにすることを目指す「カーボンニュートラル」を宣言したことについて知っていますか。(当てはまるもの 1 つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 知っているし、内容も知っている | 2 知っているが、内容は知らない |
| 3 知らない (初めて聞いた)   |                  |

問 19. 貴事業所は葛城市が 2050 年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを旨とする「ゼロカーボンシティ<sup>※</sup>」を宣言したことは知っていますか。(当てはまるもの 1 つに○)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1 知っているし、内容も知っている | 2 知っているが、内容は知らない |
| 3 知らない (初めて聞いた)   |                  |

※「ゼロカーボンシティ」については、別紙参照

問 20. 地球温暖化防止のために、貴事業所が行政に期待している施策や取組はありますか (当てはまるもの 3 つまで○)

- |  |
|--|
| 1 住民に対して環境保全意識の啓発を行う                   |
| 2 環境講座等の事業所向けの学習の場を設ける                 |
| 3 温暖化防止対策、省エネ対策についての相談窓口を設ける           |
| 4 事業所による環境自主行動計画等の計画策定に対し支援を行う         |
| 5 温暖化対策に取り組んでいる事業所の優遇措置 (税制等) の充実      |
| 6 市施設や市内への太陽光など再生可能エネルギーの積極的な活用        |
| 7 再生可能エネルギーを効率よく利用できるまちづくり             |
| 8 環境に配慮した行動をとっている事業所に対し、独自の認証制度を設ける    |
| 9 電気自動車 (EV) 充電設備の整備                   |
| 10 太陽光発電など自然エネルギーを利用した設備の導入に対する支援制度の充実 |
| 11 市民・事業所・市の連携による温室効果ガス排出削減のための制度作り    |
| 12 再エネ事業者や地域電力会社の活用                    |
| 13 その他 ( )                             |

問 21. 今後、本市では「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取組について検討する市民、事業者、行政等をメンバーとした協議会の立ち上げを予定しています。

この協議会のメンバーとして参加の意向をお答えください。(当てはまるもの1つに○)

※参加意向の方は差し支えなければ社名もご記入ください。

1 参加したい	2 条件が合えば参加しても良い
3 参加したくない	4 わからない
5 その他 ( )	
社名	

問 22. 地球温暖化等に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました

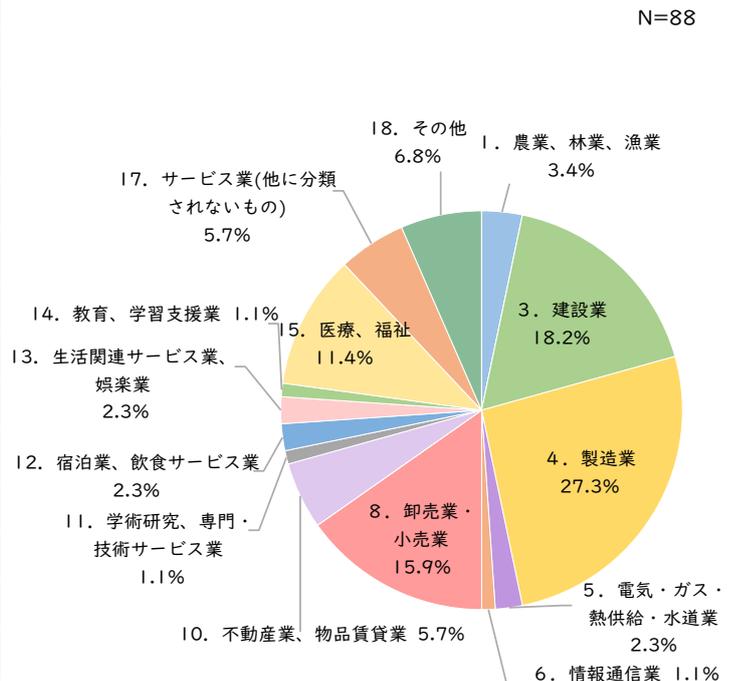
## ② アンケート結果

### I. 貴事業所について

#### 問 1. 主な業種（1つ選択）

・ 製造業が 27.3%と最も多く、次いで建設業が 18.2%、卸売業・小売業が 15.9%となっている。

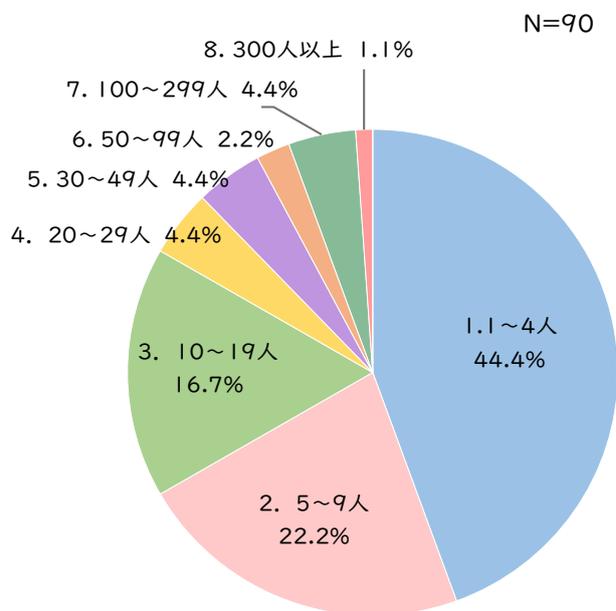
選択肢	回答数	割合
1. 農業、林業、漁業	3	3.4%
2. 鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0%
3. 建設業	16	18.2%
4. 製造業	24	27.3%
5. 電気・ガス・熱供給・水道業	2	2.3%
6. 情報通信業	1	1.1%
7. 運輸業・郵便業	0	0.0%
8. 卸売業・小売業	14	15.9%
9. 金融・保険業	0	0.0%
10. 不動産業、物品賃貸業	5	5.7%
11. 学術研究、専門・技術サービス業	1	1.1%
12. 宿泊業、飲食サービス業	2	2.3%
13. 生活関連サービス業、娯楽業	2	2.3%
14. 教育、学習支援業	1	1.1%
15. 医療、福祉	10	11.4%
16. 複合サービス業	0	0.0%
17. サービス業(他に分類されないもの)	5	5.7%
18. その他	6	6.8%
回答数	92	104.5%
回答者数	91	-
不明・無回答	3	-
回答者数（不明・無回答を除く）	88	-



## 問 2. 従業員数（パート・アルバイト含む）（1つ選択）

・「1～4人」が44.4%と最も多く、50人未満である事業所が全体の9割弱となる。

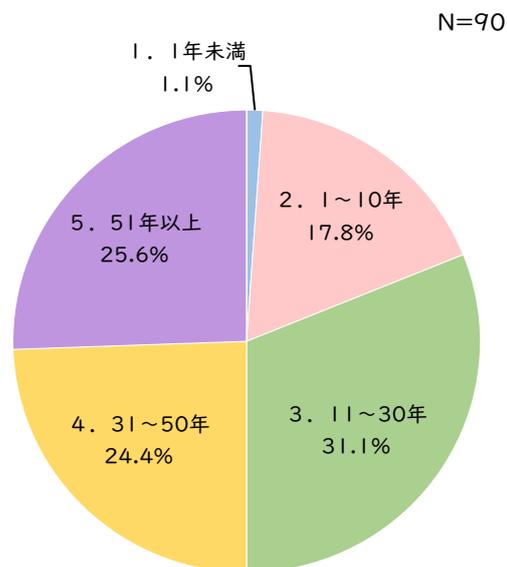
選択肢	回答数	割合
1. 1～4人	40	44.4%
2. 5～9人	20	22.2%
3. 10～19人	15	16.7%
4. 20～29人	4	4.4%
5. 30～49人	4	4.4%
6. 50～99人	2	2.2%
7. 100～299人	4	4.4%
8. 300人以上	1	1.1%
回答数	90	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	1	-
回答者数（不明・無回答を除く）	90	-



## 問 3. 事業年数（1つ選択）

・「11～30年」が31.1%で最も多く、次いで「51年以上」が25.6%、「31～50年」が24.4%となっている。  
 ・事業年数が31年以上の事業所数は全体の半数であった。

選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	1	1.1%
2. 1～10年	16	17.8%
3. 11～30年	28	31.1%
4. 31～50年	22	24.4%
5. 51年以上	23	25.6%
回答数	90	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	1	-
回答者数（不明・無回答を除く）	90	-

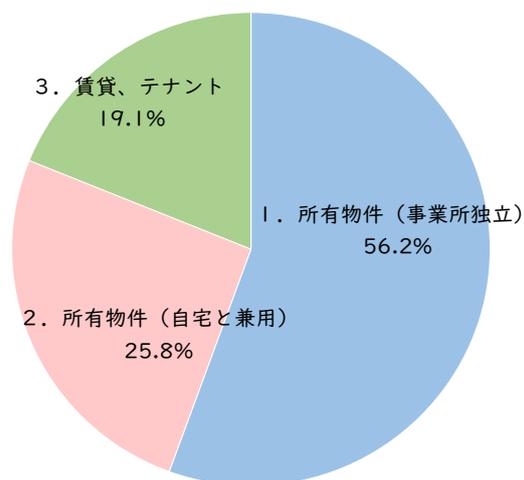


#### 問 4. 建物の形態（1つ選択）

- ・所有物件（事務所独立）が56.2%と最も多く、次いで、所有物件（自宅と兼用）が25.8%と多かった。
- ・賃貸、テナントは19.1%であった。

N=89

選択肢	回答数	割合
1. 所有物件（事務所独立）	50	56.2%
2. 所有物件（自宅と兼用）	23	25.8%
3. 賃貸、テナント	17	19.1%
回答数	90	101.1%
回答者数	91	-
不明・無回答	2	-
回答者数（不明・無回答を除く）	89	-



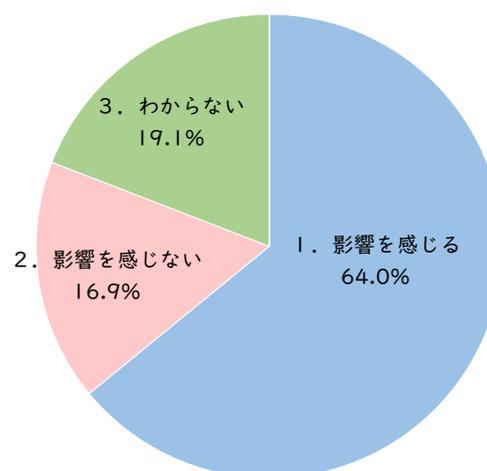
## II. 貴事業所の環境の取組について

#### 問 5. 貴事業所において、地球温暖化の影響を感じる場面はありますか。（1つ選択）

- ・「影響を感じる」と回答した事業所が64%と最も多かった。

N=89

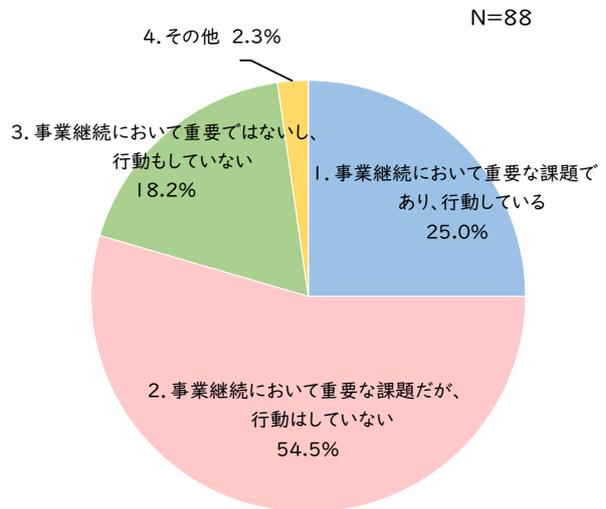
選択肢	回答数	割合
1. 影響を感じる	57	64.0%
2. 影響を感じない	15	16.9%
3. わからない	17	19.1%
4. その他	0	0.0%
回答数	89	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	2	-
回答者数（不明・無回答を除く）	89	-



問 6. 貴事業所は地球温暖化問題の対応について、どのように位置づけしていますか（1つ選択）

・「事業継続において重要な課題だが、行動はしていない」が54.5%と最も多く、次いで「事業継続において重要な課題であり、行動している」が25%であった。

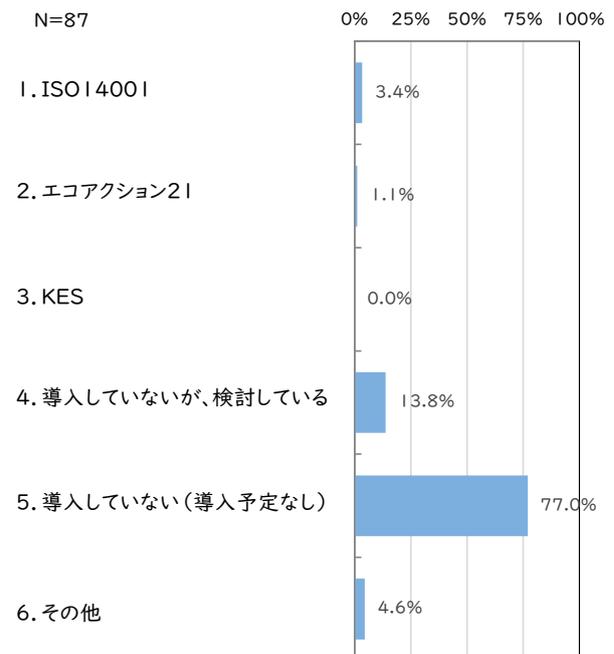
選択肢	回答数	割合
1. 事業継続において重要な課題であり、行動している	22	25.0%
2. 事業継続において重要な課題だが、行動はしていない	48	54.5%
3. 事業継続において重要ではないし、行動もしていない	16	18.2%
4. その他	2	2.3%
回答数	88	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	3	-
回答者数（不明・無回答を除く）	88	-



問 7. 貴事業所は環境マネジメントシステムを導入していますか。（当てはまるもの全て選択）

・「導入していない（導入予定なし）」と回答した事業所が77%と顕著に多く、「導入していないが、検討している」と回答した事業所は13.8%であった。

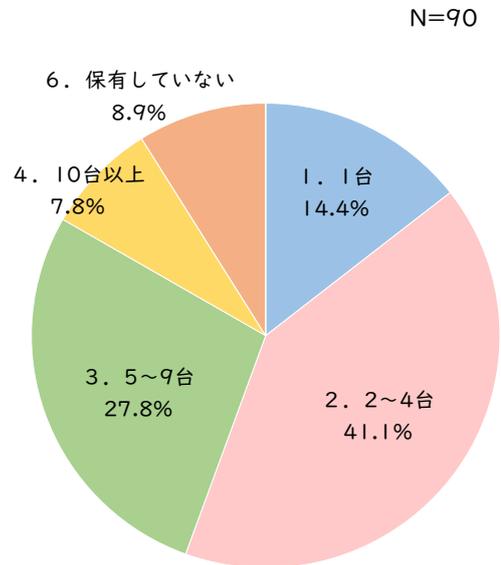
選択肢	回答数	割合
1. ISO14001	3	3.4%
2. エコアクション21	1	1.1%
3. KES	0	0.0%
4. 導入していないが、検討している	12	13.8%
5. 導入していない（導入予定なし）	67	77.0%
6. その他	4	4.6%
回答数	87	-
回答者数	91	-
不明・無回答	4	-
回答者数（不明・無回答を除く）	87	-



問 8. 貴事業所の車の保有台数をお答えください。(当てはまるもの全て選択)

・「2～4台」が41.1%と最も多く、次いで「5～9台」が27.8%であった。

選択肢	回答数	割合
1. 1台	13	14.4%
2. 2～4台	37	41.1%
3. 5～9台	25	27.8%
4. 10台以上	7	7.8%
5. その他	0	0.0%
6. 保有していない	8	8.9%
回答数	90	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	1	-
回答者数(不明・無回答を除く)	90	-



問 9. 【問 8. で車を保有していると答えた事業所】

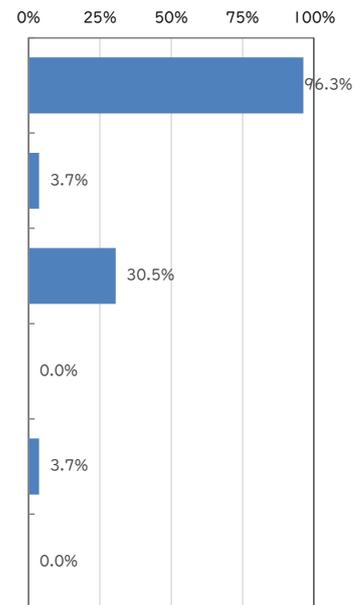
保有している車の種類は何ですか。(当てはまるもの全て選択)

・ガソリン・ディーゼル車が96.3%と顕著に多く、次いでハイブリット車が30.5%であった。

選択肢	回答数	割合
1. ガソリン・ディーゼル車	79	96.3%
2. 電気自動車	3	3.7%
3. ハイブリット車	25	30.5%
4. 燃料電池車	0	0.0%
5. プラグインハイブリット車	3	3.7%
6. その他	0	0.0%
回答数	110	-
回答者数	91	-
不明・無回答	9	-
回答者数(不明・無回答を除く)	82	-

N=82

- 1. ガソリン・ディーゼル車
- 2. 電気自動車
- 3. ハイブリット車
- 4. 燃料電池車
- 5. プラグインハイブリット車
- 6. その他



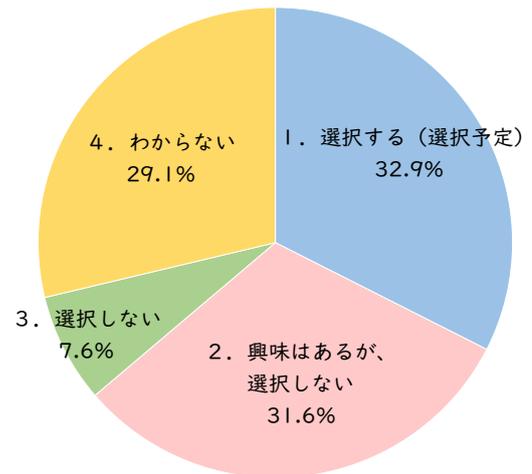
問 10. 【問 8.で車を保有していると答えた事業所】

保有している車を買替えるとき、環境にやさしい自動車（燃料電池車、電気自動車等）を選択しますか（選択予定も含む）。

・「選択する（選択予定）」と回答した事業所が 32.9%と最も多く、次いで「興味はあるが選択しない」と回答した事業所が 31.6%であった。

選択肢	回答数	割合
1. 選択する（選択予定）	26	32.9%
2. 興味はあるが、選択しない	25	31.6%
3. 選択しない	6	7.6%
4. わからない	23	29.1%
回答数	80	101.3%
回答者数	91	-
不明・無回答	12	-
回答者数（不明・無回答を除く）	79	-

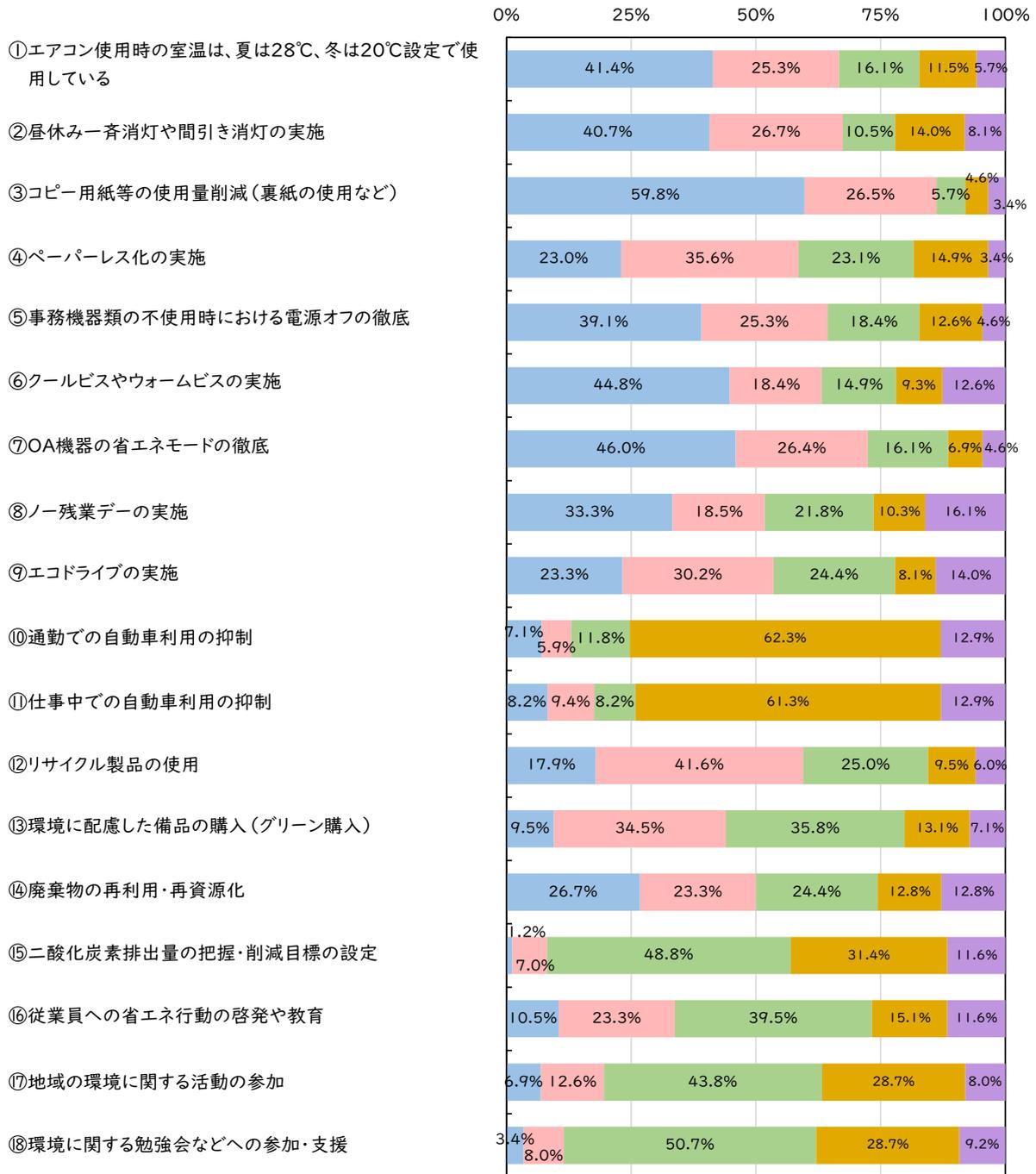
N=79



問 11. 貴事業所では、現在取り組まれている身近な地球温暖化対策や省エネルギー活動をお教えてください（各項目1つ選択）

・「既に取り組んでいる」とした取組のうち最も多かった内容は、「③コピー用紙等の使用量削減（裏紙の使用など）」が59.8%であり、「今後取り組みたい」とした取組のうち最も多かった内容は、「⑩環境に関する勉強会などへの参加・支援」であった。また、取り組む予定はないとする割合が最も高い取組は、「⑩通勤での自動車利用の抑制」で62.4%であった。

選択肢	既に取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組む予定はない	事業所に関係ない	回答数	回答者数	不明・無回答
①エアコン使用時の室温は、夏は28℃、冬は20℃設定で使用している	36	22	14	10	5	87	91	4
	41.4%	25.3%	16.1%	11.5%	5.7%	-	100.0%	-
②昼休み一斉消灯や間引き消灯の実施	35	23	9	12	7	86	91	5
	40.7%	26.7%	10.5%	14.0%	8.1%	-	100.0%	-
③コピー用紙等の使用量削減（裏紙の使用など）	52	23	5	4	3	87	91	4
	59.8%	26.5%	5.7%	4.6%	3.4%	-	100.1%	-
④ペーパーレス化の実施	20	31	20	13	3	87	91	4
	23.0%	35.6%	23.1%	14.9%	3.4%	-	100.1%	-
⑤事務機器類の不使用时における電源オフの徹底	34	22	16	11	4	87	91	4
	39.1%	25.3%	18.4%	12.6%	4.6%	-	100.0%	-
⑥クールビズやウォームビズの実施	39	16	13	8	11	87	91	4
	44.8%	18.4%	14.9%	9.3%	12.6%	-	100.1%	-
⑦OA機器の省エネモードの徹底	40	23	14	6	4	87	91	4
	46.0%	26.4%	16.1%	6.9%	4.6%	-	100.0%	-
⑧ノー残業デーの実施	29	16	19	9	14	87	91	4
	33.3%	18.5%	21.8%	10.3%	16.1%	-	100.1%	-
⑨エコドライブの実施	20	26	21	7	12	86	91	5
	23.3%	30.2%	24.4%	8.1%	14.0%	-	100.0%	-
⑩通勤での自動車利用の抑制	6	5	10	53	11	85	91	6
	7.1%	5.9%	11.8%	62.3%	12.9%	-	99.9%	-
⑪仕事での自動車利用の抑制	7	8	7	52	11	85	91	6
	8.2%	9.4%	8.2%	61.3%	12.9%	-	100.1%	-
⑫リサイクル製品の使用	15	35	21	8	5	84	91	0
	17.9%	41.6%	25.0%	9.5%	6.0%	-	99.9%	-
⑬環境に配慮した備品の購入（グリーン購入）	8	29	30	11	6	84	91	7
	9.5%	34.5%	35.8%	13.1%	7.1%	-	100.1%	-
⑭廃棄物の再利用・再資源化	23	20	21	11	11	86	91	5
	26.7%	23.3%	24.4%	12.8%	12.8%	-	100.0%	-
⑮二酸化炭素排出量の把握・削減目標の設定	1	6	42	27	10	86	90	4
	1.2%	7.0%	48.8%	31.4%	11.6%	-	100.0%	-
⑯従業員への省エネ行動の啓発や教育	9	20	34	13	10	86	91	5
	10.5%	23.3%	39.5%	15.1%	11.6%	-	100.0%	-
⑰地域の環境に関する活動の参加	6	11	38	25	7	87	91	4
	6.9%	12.6%	43.8%	28.7%	8.0%	-	100.1%	-
⑱環境に関する勉強会などへの参加・支援	3	7	44	25	8	87	91	4
	3.4%	8.0%	50.7%	28.7%	9.2%	-	100.1%	-

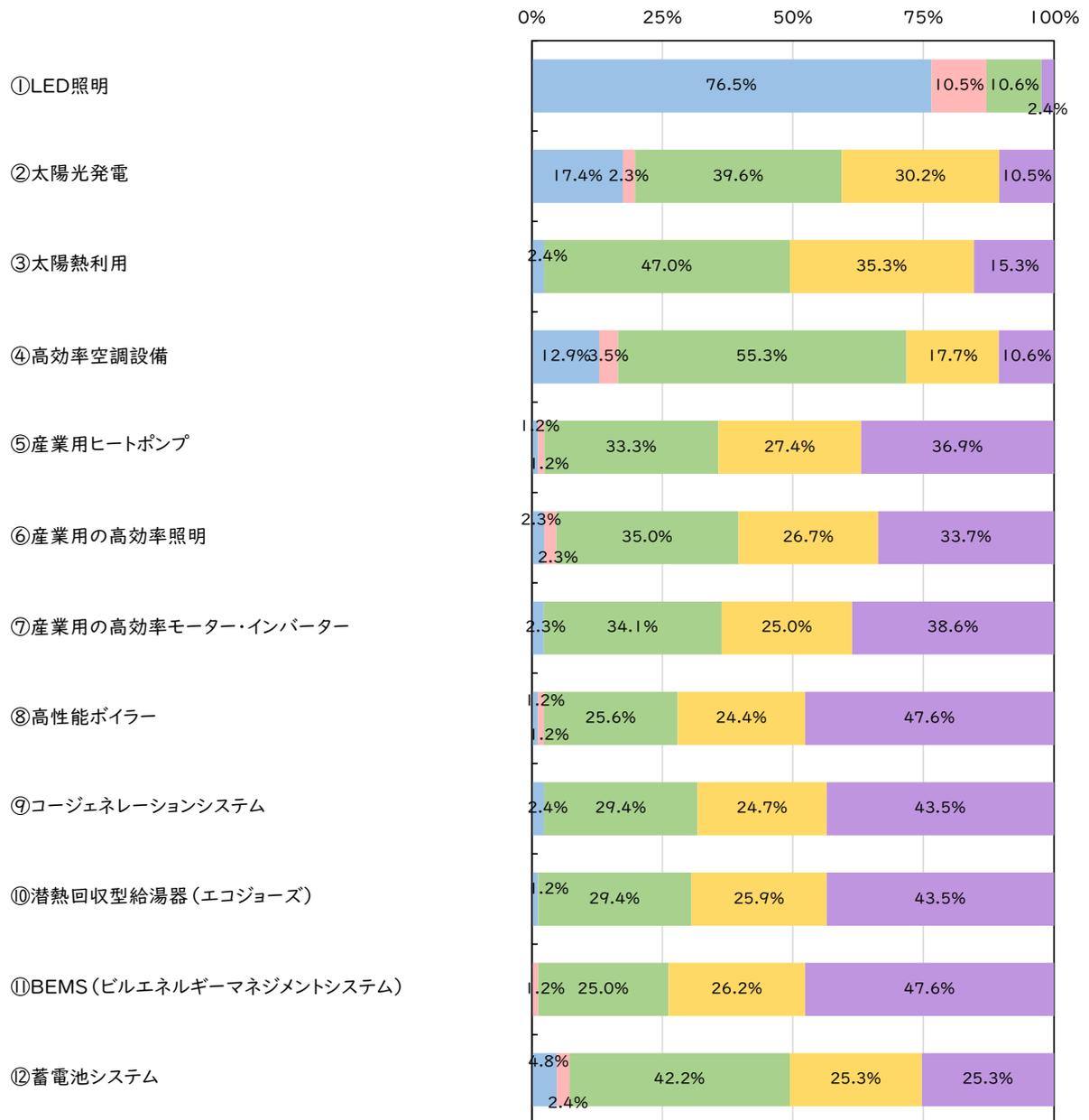


■ 既に取り組んでいる ■ 時々取り組んでいる ■ 今後取り組みたい ■ 取り組む予定はない ■ 事業所に関係ない

問 12. 貴事業所での再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入状況について  
お答えください(各項目1つ選択)

・「導入している」再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備のうち、最も多かった内容は、「①LED照明」で、76.5%であった。しかし、その他の設備等は導入割合が低かった。  
・「予定はないが、関心がある」設備は、「④高効率空調設備」が55.3%で一番多く、次いで「②太陽光発電」が47.1%、「⑫蓄電池システム」が42.2%で続いた。

選択肢	導入している	導入検討中(予定含む)	予定はないが、関心はある	導入しない	事業所に 関係ない	回答数	回答者数	不明・無 回答
①LED照明	65	9	9	0	2	85	91	6
	76.5%	10.5%	10.6%	0.0%	2.4%	-	99.9%	-
②太陽光発電	15	2	34	26	9	86	91	5
	17.4%	2.3%	39.6%	30.2%	10.5%	-	100.1%	-
③太陽熱利用	2	0	40	30	13	85	91	6
	2.4%	0.0%	47.0%	35.3%	15.3%	-	99.9%	-
④高効率空調設備	11	3	47	15	9	85	91	6
	12.9%	3.5%	55.3%	17.7%	10.6%	-	100.1%	-
⑤産業ヒートポンプ	1	1	28	23	31	84	91	7
	1.2%	1.2%	33.3%	27.4%	36.9%	-	100.0%	-
⑥産業用の高効率照明	2	2	30	23	29	86	91	5
	2.3%	2.3%	35.0%	26.7%	33.7%	-	100.1%	-
⑦産業用の高効率モーター・インバーター	2	0	30	22	34	88	91	3
	2.3%	0.0%	34.1%	25.0%	38.6%	-	100.0%	-
⑧高性能ボイラー	1	1	22	21	41	86	91	5
	1.2%	1.2%	25.6%	24.4%	47.6%	-	99.9%	-
⑨コージェネレーションシステム	2	0	25	21	37	85	91	6
	2.4%	0.0%	29.4%	24.7%	43.5%	-	100.0%	-
⑩潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)	1	0	25	22	37	85	91	6
	1.2%	0.0%	29.4%	25.9%	43.5%	-	100.0%	-
⑪BEMS (ビルエネルギーマネジメントシステム)	0	1	21	22	40	84	91	7
	0.0%	1.2%	25.0%	26.2%	47.6%	-	100.0%	-
⑫蓄電池システム	4	2	35	21	21	83	0	0
	4.8%	2.4%	42.2%	25.3%	25.3%	-	100.0%	-

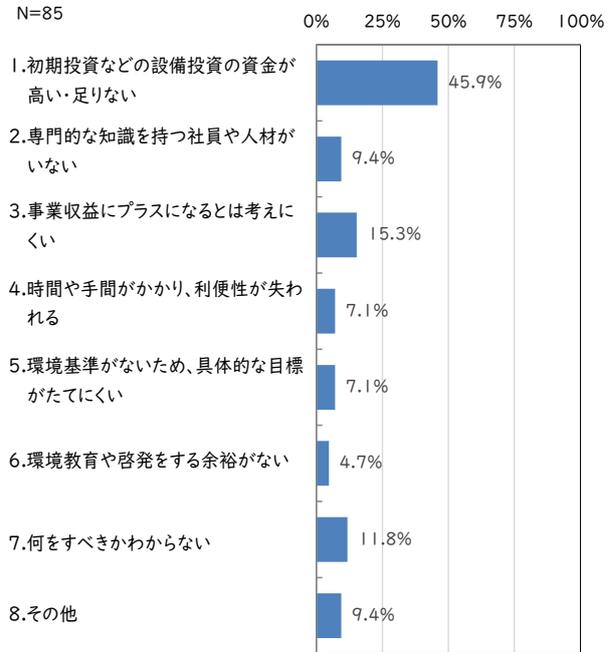


■ 導入している ■ 導入検討中(予定含む) ■ 予定はないが、関心はある ■ 導入しない ■ 事業所に関係ない

問 13. 地球温暖化対策に関する取組の妨げになっていることは何ですか（1つ選択）

・「初期投資などの設備投資の資金が高い・足りない」と答えた事業所が45.9%で最も多く、次いで、「事業収益にプラスになるとは考えにくい」が15.3%で続いた。

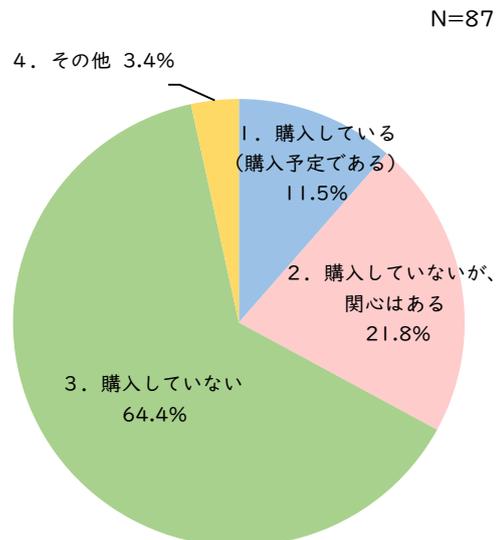
選択肢	回答数	割合
1. 初期投資などの設備投資の資金が高い・足りない	39	45.9%
2. 専門的な知識を持つ社員や人材がない	8	9.4%
3. 事業収益にプラスになるとは考えにくい	13	15.3%
4. 時間や手間がかかり、利便性が失われる	6	7.1%
5. 環境基準がないため、具体的な目標が立てにくい	6	7.1%
6. 環境教育や啓発をする余裕がない	4	4.7%
7. 何をすべきかわからない	10	11.8%
8. その他	8	9.4%
回答数	94	110.6%
回答者数	91	-
不明・無回答	6	-
回答者数（不明・無回答を除く）	85	-



問 14. 貴事業所では再生可能エネルギー由来の電力会社（太陽光発電等を利用して作られた電力）から電力を購入していますか（1つ選択）

・「購入していない」が最も多く、64.4%であった。一方、「購入している（購入予定である）」事業所は11.5%であった。

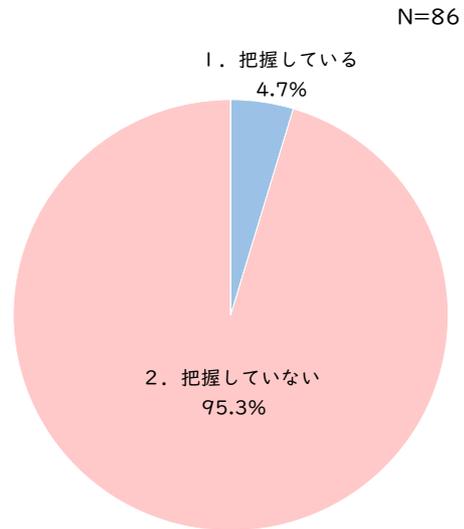
選択肢	回答数	割合
1. 購入している（購入予定である）	10	11.5%
2. 購入していないが、関心はある	19	21.8%
3. 購入していない	56	64.4%
4. その他	3	3.4%
回答数	88	101.1%
回答者数	91	-
不明・無回答	4	-
回答者数（不明・無回答を除く）	87	-



問 15. 貴事業所では、温室効果ガスの排出量を把握していますか（1つ選択）

・温室効果ガスの排出量を把握していない事業所が95.3%と顕著に多かった。

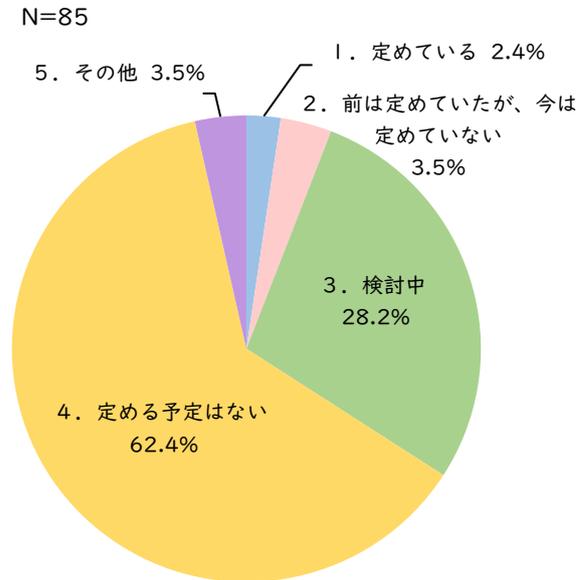
選択肢	回答数	割合
1. 把握している	4	4.7%
2. 把握していない	82	95.3%
3. その他	0	0.0%
回答数	86	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	5	-
回答者数（不明・無回答を除く）	86	-



問 16. 貴事業所では、温室効果ガス排出の削減に向けて、事業所としての削減目標や方針を定めていますか（1つ選択）

・温室効果ガスの削減目標や方針を「定める予定はない」と答えた事業所は62.4%で最も多かった。ただ、検討中の事業所も28.2%と多い結果となった。

選択肢	回答数	割合
1. 定めている	2	2.4%
2. 前は定めていたが、今は定めていない	3	3.5%
3. 検討中	24	28.2%
4. 定める予定はない	53	62.4%
5. その他	3	3.5%
回答数	85	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	6	-
回答者数（不明・無回答を除く）	85	-



問 17. 貴事業所の企業活動において、環境に配慮した取組はどのように位置づけられていますか（当てはまるもの全て選択）

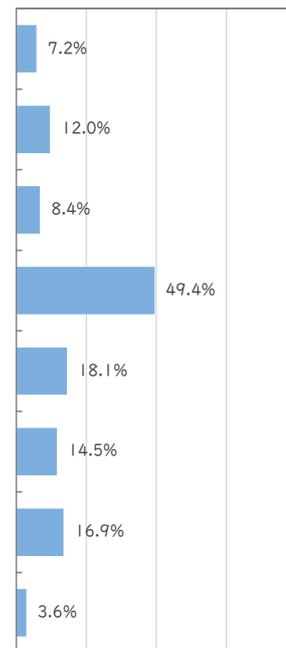
・「企業の社会的責任の1つである」と答えた事業所が49.4%で一番多く、次いで「法規制などの義務として遵守するものである」が18.1%、「環境に配慮した取組と企業活動は関連がない」が16.9%と続いた。

選択肢	回答数	割合
1. ビジネスチャンスである	6	7.2%
2. 重要な戦略の1つである	10	12.0%
3. 事業継続性に係る経営リスクの低減につながる	7	8.4%
4. 企業の社会的責任の1つである	41	49.4%
5. 法規制などの義務として遵守するものである	15	18.1%
6. 経営面を圧迫するものである	12	14.5%
7. 環境に配慮した取組と企業活動は関連がない	14	16.9%
8. その他	3	3.6%
回答数	108	-
回答者数	91	-
不明・無回答	8	-
回答者数（不明・無回答を除く）	83	-

N=83

- 1. ビジネスチャンスである
- 2. 重要な戦略の1つである
- 3. 事業継続性に係る経営リスクの低減につながる
- 4. 企業の社会的責任の1つである
- 5. 法規制などの義務として遵守するものである
- 6. 経営面を圧迫するものである
- 7. 環境に配慮した取組と企業活動は関連がない
- 8. その他

0% 25% 50% 75% 100%



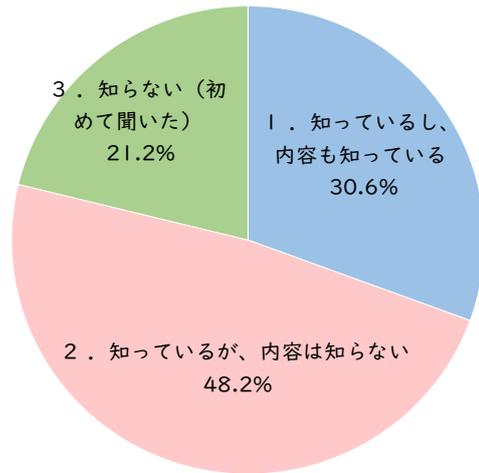
### Ⅲ. 地球温暖化、市の行政について

問 18. 貴事業所は国が 2050 年に温室効果ガスの排出量をゼロにすることを目指す「カーボンニュートラル」を宣言したことについて知っていますか（1つ選択）

・「知っているが、内容は知らない」と答えた事業所が 48.2%で最も多かった。また、「カーボンニュートラル」を宣言したことを知っている事業所は 8 割弱であった。

N=85

選択肢	回答数	割合
1. 知っているし、内容も知っている	26	30.6%
2. 知っているが、内容は知らない	41	48.2%
3. 知らない（初めて聞いた）	18	21.2%
回答数	85	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	6	-
回答者数（不明・無回答を除く）	85	-

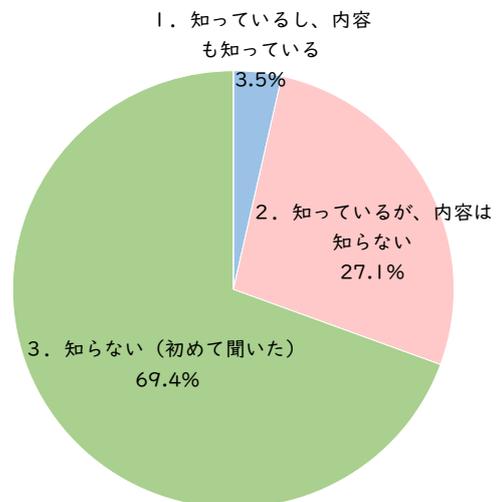


問 19. 貴事業所は葛城市が 2050 年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを旨す「ゼロカーボンシティ」を宣言したことは知っていますか（1つ選択）

・「知らない(初めて聞いた)と答えた事業所が 69.4%で最も多かった。  
・葛城市が「ゼロカーボンシティ」を宣言したことについて知っている事業所は 3 割程度にとどまった。

N=85

選択肢	回答数	割合
1. 知っているし、内容も知っている	3	3.5%
2. 知っているが、内容は知らない	23	27.1%
3. 知らない（初めて聞いた）	59	69.4%
回答数	85	100.0%
回答者数	91	-
不明・無回答	6	-
回答者数（不明・無回答を除く）	85	-





### 3. 自治体排出量カルテ

葛城市の自治体排出量カルテは次ページ以降に示す。

項目	表示形式	対象年度	具体内容
<b>自治体排出量カルテ① CO<sub>2</sub>排出量の現状把握</b>			
○地方公共団体の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量（標準的手法）			
1) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 平成17年度（2005年度）	円グラフ	2005年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
2) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 平成25年度（2013年度）	円グラフ	2013年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
3) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比 令和4年度（2022年度）	円グラフ	2022年度	・標準的手法に基づくCO <sub>2</sub> 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
4) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の推移	積上げ縦棒グラフ	2009～2022年度	・2009年度以降の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の推移
5) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）	100%積上げ縦棒グラフ	2022年度	・地方公共団体と該当都道府県平均、全国平均の部門・分野別のCO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較

<b>自治体排出量カルテ② 活動量の現状把握</b>			
○地方公共団体の活動量			
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO <sub>2</sub> 排出量の推移）	折れ線グラフ・縦棒グラフ	2009～2022年度	・標準的手法の部門・分野別の活動量の推移

<b>自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握</b>			
<b>1 地方公共団体の特定事業所排出量</b>			
1) 特定事業所の部門別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所の部門別排出量構成比
2) 特定事業所の部門別排出量の推移	積上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所の部門別排出量の推移
3) 特定事業所によるガス種別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所によるガス種別排出量構成比
4) 特定事業所によるガス種別排出量の推移	積上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所によるガス種別排出量の推移
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所の業種別事業所数及び排出量
<b>2 地方公共団体の区域のCO<sub>2</sub>排出量との比較</b>			
6) 区域のCO <sub>2</sub> 排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移	積上げ縦棒・折れ線グラフ	2011～2021年度	・区域の産業部門・業務その他部門の排出量の推移と特定事業所排出量が占める割合（カバー率）の推移
<b>3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較</b>			
7) 1事業所当たりの排出傾向（全国平均値との比較）（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所1事業所当たりの排出量の全国平均値との比較

<b>自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握</b>			
<b>1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）</b>			
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（導入設備容量）
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（発電電力量）
3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）	積上げ縦棒・折れ線グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別導入設備容量の推移と区域の電気使用量に対するFIT・FIP太陽光導入比の推移
4) 区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数の推移（累積）	縦棒グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の太陽光（10kW未満）の導入件数の推移
<b>2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル</b>			
5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）
<b>3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）</b>			
7) 区域内のエネルギー消費量に対する再生可能エネルギー導入ポテンシャル（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・区域の電気使用量に対する再生可能エネルギー導入ポテンシャルの比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
8) 区域内の再生可能エネルギー導入ポテンシャルと再生可能エネルギー導入量（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・再生可能エネルギーの再生可能エネルギー導入ポテンシャルに対する再生可能エネルギー導入量の比較

※人口が同程度の他の地方公共団体との排出量の比較シート、他の地方公共団体との再生可能エネルギー導入量や再生可能エネルギーポテンシャルの比較シート、特定事業所集計表シートも付録しています。

<b>自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（部門・分野別排出量）</b>			
<b>1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和3年度（2021年度））</b>			
1) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量の比較	積上げ縦棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比の比較	100%積上げ縦棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO <sub>2</sub> 排出量構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
<b>2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））</b>			
3) 産業部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の産業部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
4) 業務その他部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の業務その他部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
<b>3 特定事業所排出量の比較（令和3年度（2021年度））</b>			
5) 特定事業所排出量の比較	積上げ縦棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
6) 特定事業所数の比較	積上げ縦棒グラフ	2021年度	・特定事業所数を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較	100%積上げ縦棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量の部門別構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較

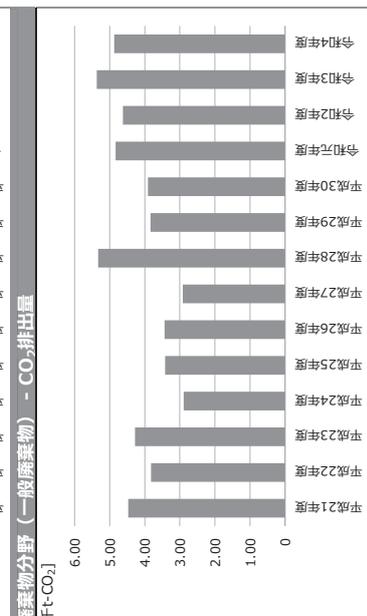
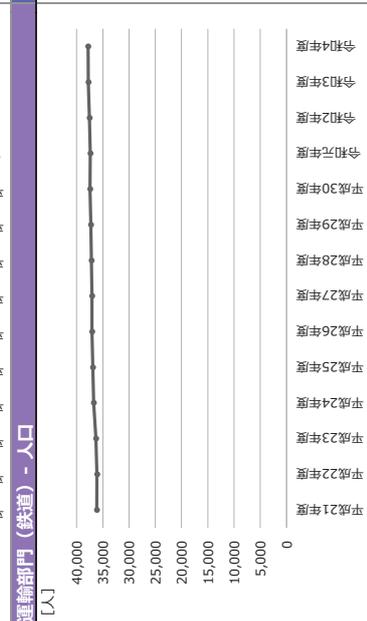
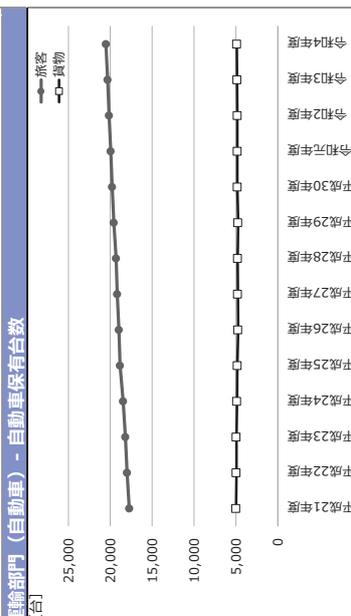
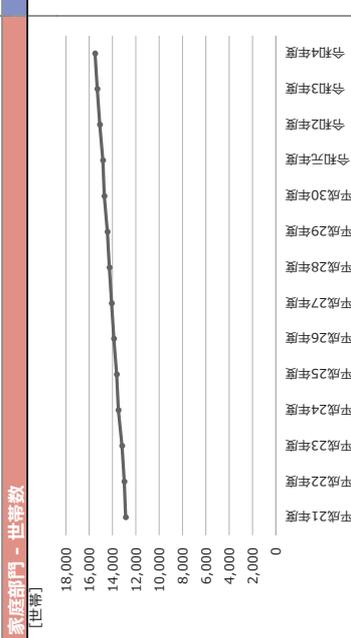
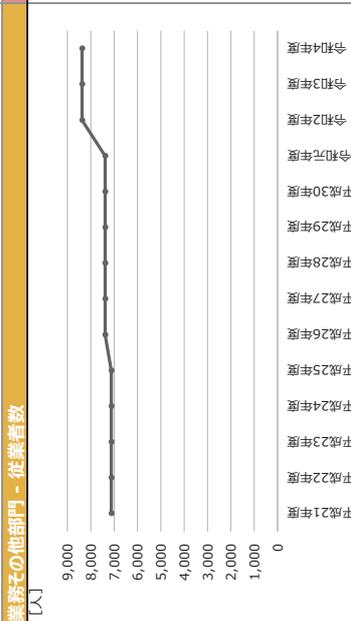
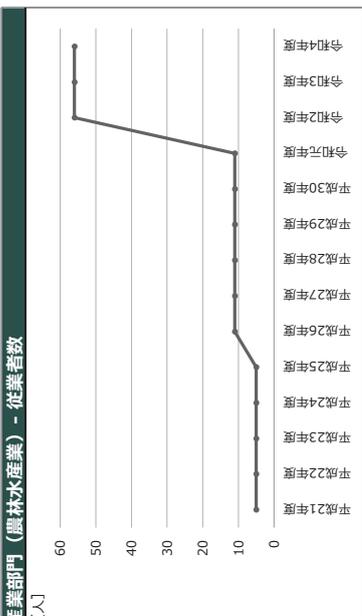
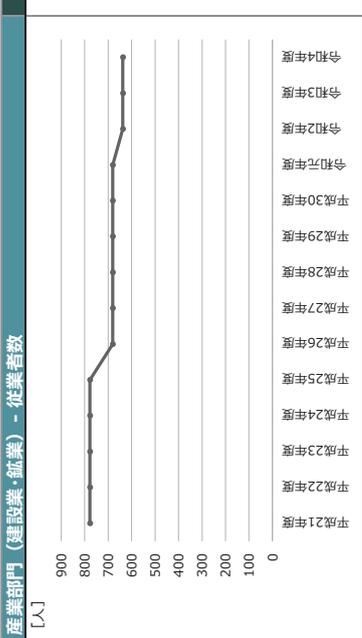
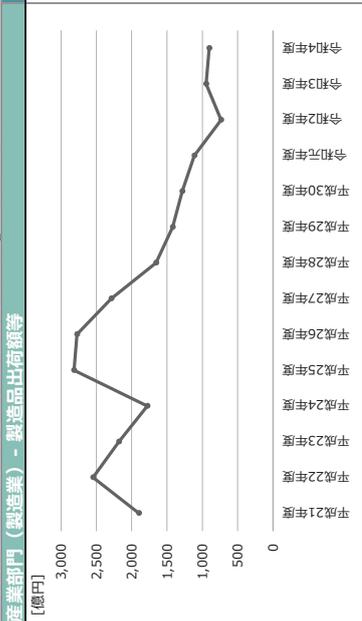
<b>自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（再生可能エネルギー導入量・再生可能エネルギーポテンシャル）</b>			
<b>1 再生可能エネルギー導入量の比較（令和5年度（2023年度））</b>			
1) 他の地方公共団体との再生可能エネルギー導入設備容量の比較	積上げ縦棒グラフ	2023年度	・再生可能エネルギー導入設備容量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 他の地方公共団体との再生可能エネルギー発電電力量の比較	積上げ縦棒グラフ	2023年度	・再生可能エネルギー発電電力量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較	積上げ縦棒グラフ	2023年度	・対電気使用量FIT・FIP導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較	横棒グラフ	2023年度	・対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※世帯数は2022年度で代用
<b>2 再生可能エネルギーポテンシャルの比較</b>			
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再生可能エネルギーポテンシャル（発電電力量）の比較	積上げ縦棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再生可能エネルギーポテンシャル（発電電力量）を同一都道府県内で比較
6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の電気使用量を同一都道府県内で比較（※2022年度で代用）
7) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再生可能エネルギー不足量・余剰量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再生可能エネルギー不足量・余剰量を同一都道府県内で比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用

<b>特定事業所集計表シート</b>			
特定事業所集計表			
特定事業所集計表	表	2011～2021年度	・特定事業所の事業所数と排出量の集計表（日本標準産業分類別）



○ 地方公共団体の活動量

1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO<sub>2</sub>排出量の推移）



部門・分野別活動量の推移を示す指標は、部門・分野別の指標の経年変化を分析することで、CO<sub>2</sub>排出量の推移を把握することが可能です。各指標の引元年は次のとおりです。製造品出荷額等（製造業）：令和元年度までは工業統計調査、令和2年度は経済センサス（活動調査）、令和3年度以降は経済構造調査、従業員数（建設業・鉱業・農林水産業、業務その他の部門）：令和元年度までは経済センサス（活動調査）、令和2年度以降は経済センサス（活動調査）、令和3年度以降は経済センサス（活動調査）、令和4年度は経済センサス（活動調査）による推計です。また、令和3年度以降は経済センサス（活動調査）による推計です。なお、従業員数は経済センサス（基礎調査）を使用し、平成20年度～平成21年度（平成21年度～平成25年度）、令和元年度～令和2年度は経済センサス（活動調査）から集計しています。廃棄物分野は統計方法が異なるため、平成21年度～令和2年度は経済センサス（活動調査）から集計しています。世帯数（家庭部門）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯調査、自動車保有台数（運輸部門）：一般財団法人自動車保有台数調査情報協会、市区町村別自動車保有台数、人口（鉄道）：一般財団法人自動車保有台数調査情報協会、市区町村別自動車保有台数、入港船舶トン数（船舶）：港務統計年報



自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握

1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量



※1: 再生可能エネルギー導入設備容量は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（再生特措法）」(平成23年法律第106号) に基づくFIT・FIP制度下で認定された設備の買取期間満了後の導入容量を記載しています。そのため、自家消費のみで充実にしていない設備、FIT・FIP制度外の設備等は、本カルテの記載されません。

2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量



※2: バイオマス発電の導入設備容量は、FIT・FIP制度外設備のバイオマス発電設備（バイオマス比率考慮部分）の値を用いています。

2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル※7

5) 導入ポテンシャル（電気のみ、設備容量）

電源種別	設備容量 [kW]	発電電力量 [MWh/年]	導入ポテンシャル [億MJ/年]
太陽光発電	302,457	393,463	14
建物系	149,245	194,665	7
土地系	153,212	198,798	7
風力発電	26,100	56,259	2
中小水力発電	0	0	0
河川	0	0	0
農業用水路	0	0	0
地熱発電	0	0	0
系外アグリ発電	0	0	0
バイオマス発電	0	0	0
低周波ハイブリッド発電	0	0	0
太陽熱	-	-	4
地中熱	-	-	29
<b>再生可能エネルギー合計</b>	<b>328,557</b>	<b>449,721</b>	<b>49</b>

※7: 最新の設備や算定方法、再生可能エネルギーポテンシャルの定義は、REPOSHPを御参照ください。  
<https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/renewableenergy/>

6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）



※8: 再生可能エネルギーポテンシャルと再生導入量のデータは、集計対象範囲や設備の算出方法が異なるため、おまけで目録として添付しています。

3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）



※9: (再生可能エネルギー) / (電気の使用量) により算出します。  
 ※10: 電気の使用量 > 再生可能エネルギーの場合、再生可能エネルギー不足量 [MWh/年]、電気の不足量 > 再生可能エネルギーの場合、再生可能エネルギー不足量 [MWh/年] を示します。

1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量

電源種別	区域の再生可能エネルギーの導入設備容量				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	令和元年度	令和5年度
太陽光発電 (10kW未満)	4,165	4,516	4,811	5,247	7,181
太陽光発電 (10kW以上)	7,173	8,531	9,179	10,387	14,012
風力発電	0	0	0	0	0
水力発電	0	0	0	0	0
地熱発電	0	0	0	0	0
バイオマス発電	0	0	0	0	0
<b>再生可能エネルギー合計</b>	<b>11,338</b>	<b>13,047</b>	<b>13,991</b>	<b>14,998</b>	<b>21,966</b>

※1: 再生可能エネルギー導入設備容量は、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（再生特措法）」(平成23年法律第106号) に基づくFIT・FIP制度下で認定された設備の買取期間満了後の導入容量を記載しています。そのため、自家消費のみで充実にしていない設備、FIT・FIP制度外の設備等は、本カルテの記載されません。

2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量

電源種別	区域の再生可能エネルギーによる発電電力量				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	令和元年度	令和5年度
太陽光発電 (10kW未満)	4,999	5,420	5,774	6,296	7,591
太陽光発電 (10kW以上)	9,488	11,285	12,142	12,898	18,525
風力発電	0	0	0	0	0
水力発電	0	0	0	0	0
地熱発電	0	0	0	0	0
バイオマス発電	0	0	0	0	0
<b>再生可能エネルギー合計</b>	<b>14,487</b>	<b>16,705</b>	<b>17,916</b>	<b>19,195</b>	<b>28,080</b>

※2: バイオマス発電の導入設備容量は、FIT・FIP制度外設備のバイオマス発電設備（バイオマス比率考慮部分）の値を用いています。

3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）



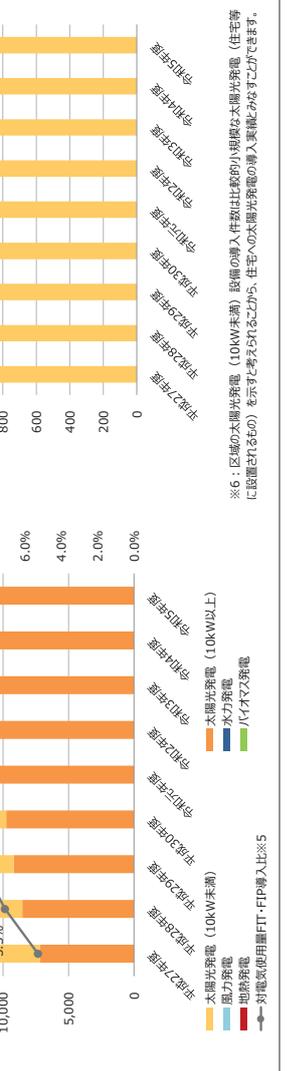
※3: 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量は、区域の再生可能エネルギーの導入設備容量と調達価格等算定委員会(調達価格等算定委員会)の電気使用量が一致しました。設備利用率は変動する場合があります。推計値は最新の発電電力量とは一致しません。目録として添付してあります。

4) 区域の太陽光発電 (10kW未満) 設備の導入件数の推移（累積）



※4: 区域の電気使用量は、「地方公共団体実業計画（区域別実業計画）」の標準的モニタリングの標準的手法を参考に、総合エネルギー統計及び都道府県別エネルギー消費統計の部門別の電気使用量を各部門の活動量で按分して推計しました。ただし、統計資料の公表年度の遅いから最新年度の区域の電気使用量は、その1年前期の値を用いています。

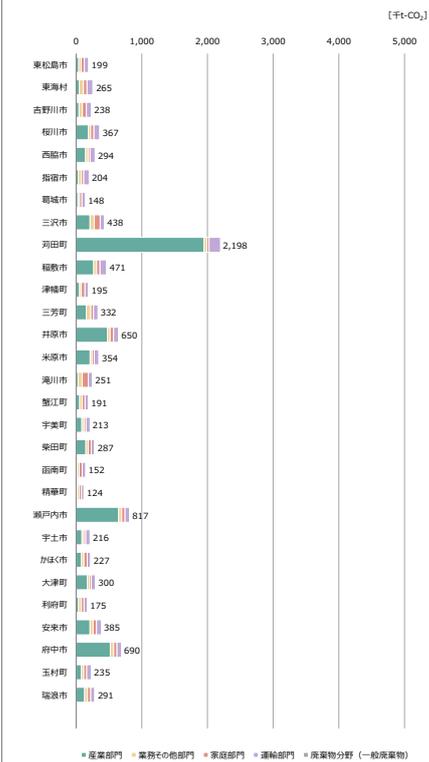
5) 区域のFIT・FIP制度による再生可能エネルギーの発電電力量（の合計）を、区域の電気使用量で除いた値です。



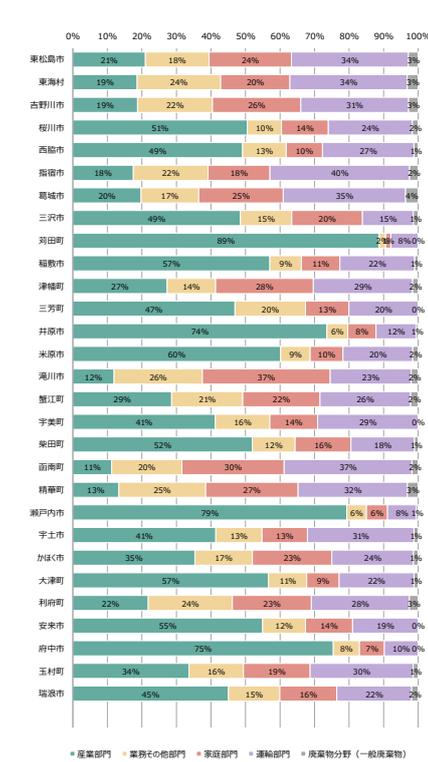
※5: 区域の太陽光発電 (10kW未満) 設備の導入件数は比較的小規模な太陽光発電 (住宅用) に設置されるものを示すと考えられることから、住宅への太陽光発電の導入実績のみならず、事業用にも設置されているものを示すとさせていただきます。

1 部門・分野別排出量の比較 (標準的手法) (令和3年度(2021年度))

1) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量の比較

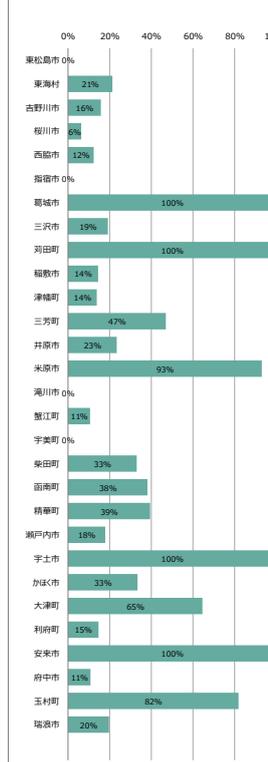


2) 部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量構成比の比較

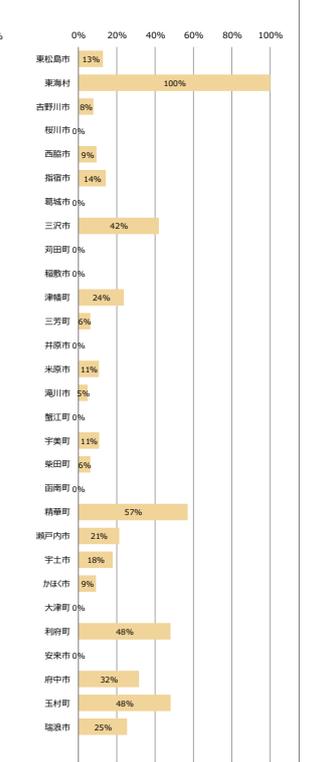


2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較 (令和3年度(2021年度))

3) 産業部門



4) 業務その他部門

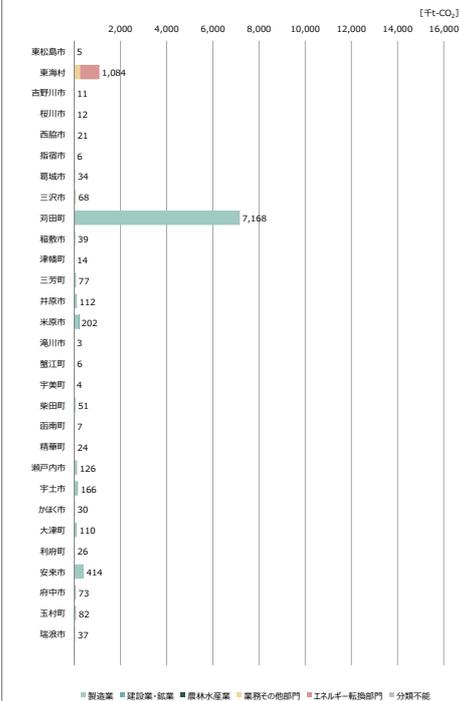


区域のCO<sub>2</sub>排出量は、環境省「地方公共団体実行計画(区域版編集)」第3章「実態とエリア」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO<sub>2</sub>排出量を算出した。なお、一般廃棄物のCO<sub>2</sub>排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の廃部編成上の年間処理量等から算出している。各地方公共団体の過年度のデータは、地方公共団体実行計画第2章「実態とエリア」の標準的手法等に基づき、地方公共団体別部門・分野別で算出した。https://www.env.go.jp/policy/local\_keikaku/tools/suiki2.html を御参照ください。構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

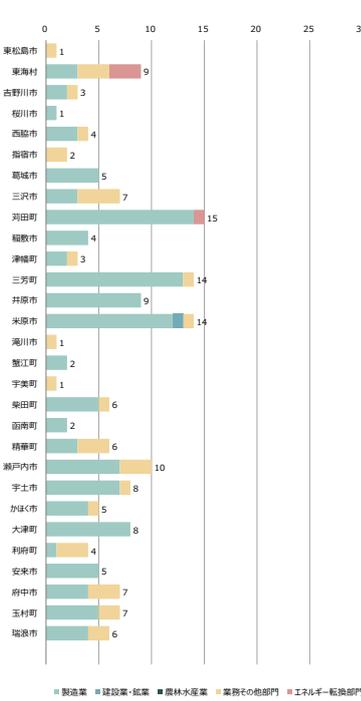
統計精度の関係で、区域の排出量に占める特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は110.0%としています。区域の排出量は、環境省「地方公共団体実行計画(区域版編集)」第3章「実態とエリア」の標準的手法等に基づき、地方公共団体別部門・分野別で算出した。https://www.env.go.jp/policy/local\_keikaku/tools/suiki2.html を御参照ください。構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

3 特定事業所排出量の比較 (令和3年度(2021年度))

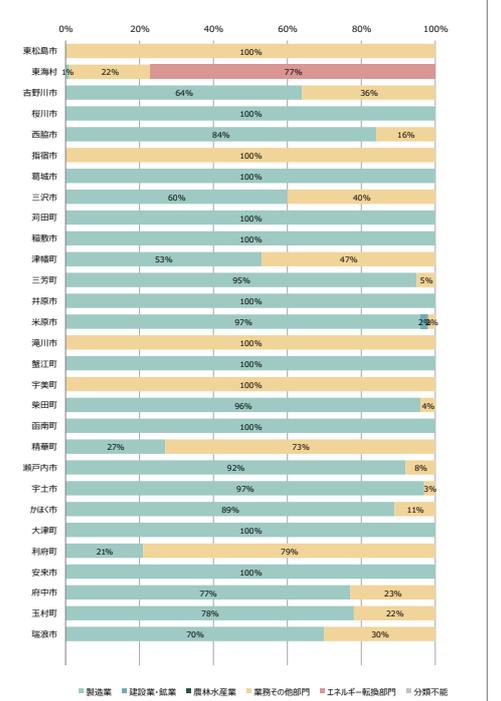
5) 特定事業所排出量の比較



6) 特定事業所数の比較



7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較

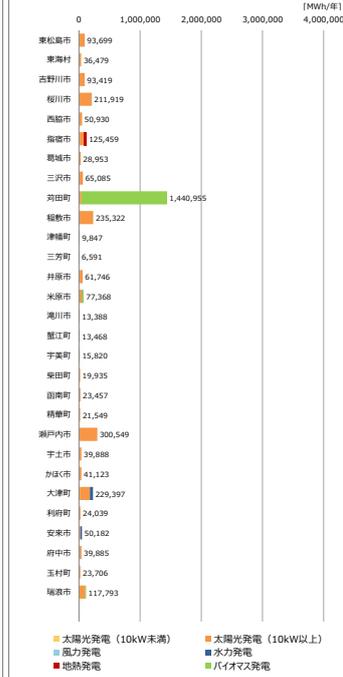


1 再エネ導入量の比較 (令和5年度 (2023年度))

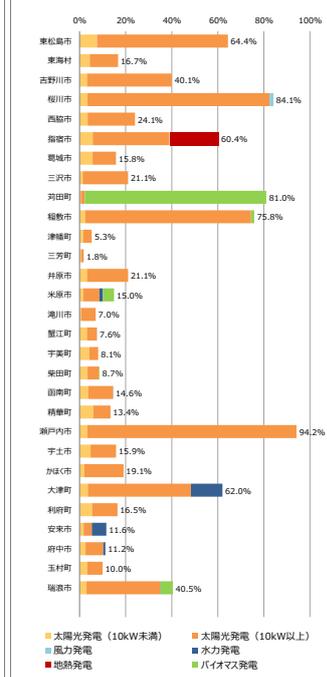
1) 他の地方公共団体との再エネ導入設備容量の比較 [kW]



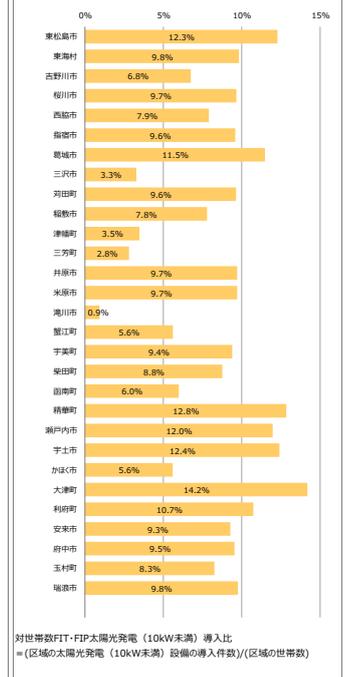
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較 [MWh/年]



3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較



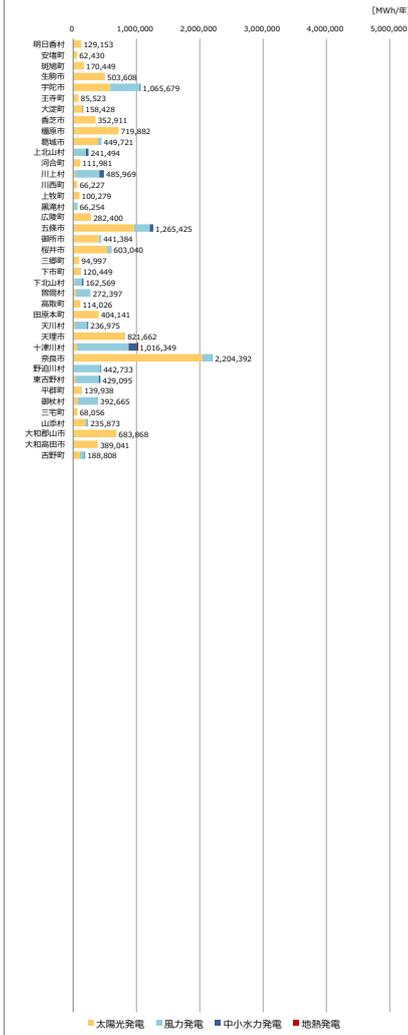
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電 (10kW未満) 導入比の比較



対世帯数FIT・FIP太陽光発電 (10kW未満) 導入比  
= (区域太陽光発電 (10kW未満) 設備の導入件数) / (区域の世帯数)

2 再エネ導入ポテンシャルの比較

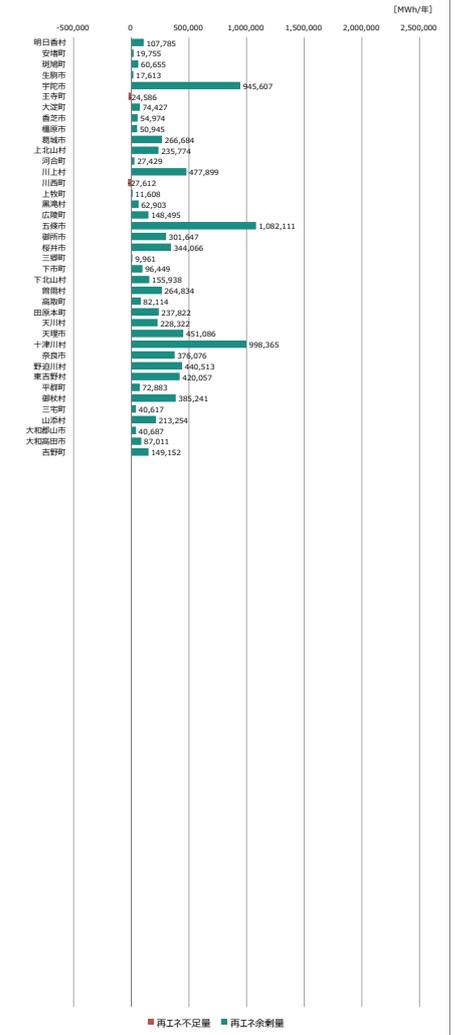
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル (発電電力量) の比較 [MWh/年]



6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較 [MWh/年]



7) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較 [MWh/年]









葛城市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

発行：令和 8 年 3 月

発行者：葛城市市民生活部環境課

〒639-2195 奈良県葛城市柿本 166 番地

TEL：0745-69-3001 FAX：0745-69-6456